

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
			計画の目標	計画をつくる場合には、まず目的があって、次に目標をつくる、それから施策が出てくる。目的は必要である。	関係団体市民会議(発言)
			基本構想・長期計画の核及び策定方式の違い	今回の第五期基本構想・長期計画に当たっては、核となるものは何か。また、策定方式の違いは何か。	市議会全員協議会
			基本構想・長期計画の位置づけ	基本構想・長期計画をつくるにあたって、どのような位置づけで考えているのか。基本構想・長期計画は、武蔵野市全体、市民自身がこの計画を自分のものだと思う計画とすべき。その点をもっとうたって、つくり込んでいくべきと思うが、ご見解を伺う。	市議会全員協議会
			自治体運営の基本ルール、長期計画及び個別計画の関係	自治基本条例のようなルールをつくらないと、個別計画にとらわれてしまって、結局、また調整計画の調整計画になってしまうのではないかと。今回の討議要綱も、果たしてこれが基本構想なのというのを疑問に思う。どこが基本構想なのか、長期計画なのか、よくわからない。その辺、どう整合性を付けているのか。	市議会全員協議会
			長期計画と個別計画の関係	長期計画と個別計画の調整をどのように行うのか。それを整理しないと、これからの市民との意見交換は難しくなると思うがどう考えているのか。	市議会全員協議会
			討議要綱の内容	討議要綱は、基本構想とか理念に集中すべきであり、個別のことを記述する必要はないのではないか。この点について伺いたい。	市議会全員協議会
			計画の進行管理	基本構想・長期計画のアフターフォローが非常に重要である。行財政改革アクションプラン等で書き込まれていることが、基本構想・長期計画の実質的な進行管理になっていないだろうか。基本構想・長期計画が本当に市の上位計画であるのか、疑問である。	市議会全員協議会
			計画のメッセージ性	当初、基本構想・長期計画でうたわれた市民参加、市民自治の実践が個別計画で進んでいる中で、では基本構想・長期計画はどうかと言われるのは当然かなと思う。メッセージということについて、ぜひこれから職員の方々とのお話し合いの中でも考えてもらいたい。	市議会全員協議会
			感動を求める言葉の記述	行政計画において、これから中長期的に考えて、感動を求める言葉をいれるべきである。これについてどう考えるか。	市議会全員協議会
			市の姿勢の提示	市はこれを絶対守るということを市が示すと、長期計画の論議もやりやすいし、もっとたくさんの人が参加するのではないか。	関係団体市民会議(発言)
			討議要綱の趣旨	今回の討議要綱の根本的なところがどうなるのかわからない。わからないと、子どものことも、この先どう変わっていくのかわからない。	関係団体市民会議(発言)
			討議要綱の内容	討議要綱が、市民から広く意見を得るためのものというのであれば、もっと内容を整理する必要がある。	パブリックコメント
			討議要綱の記述	非常にコンパクトに良く出来ているが、記述が少ないので心配した。	市議会全員協議会
			討議要綱の記述	市報に掲載するため、文言を削ったとのこと。大事な討議であり、しっかり内容を示してほしい。市報に掲載するのが大切なのか、討議するにあたって資料をしっかりと出すのが大切なのか、委員長としての考えを伺う。	市議会全員協議会
			討議要綱の記述	市報に載せるために、この討議要綱の内容を削ったのは、本末転倒ではないか。策定委員と議会の間で今後、本当にしっかりと市民のための10年先の計画をきっちりと立てていくためにも、削るのではなく、きちんと記載すべきである。議員としても、よく理解し合った上で、パートナーとしてよい長期計画にしたいと思っている。市政の透明化、情報を正確に市民に伝えるべきである。	市議会全員協議会
			討議要綱に対する意見募集のあり方	策定委員会はどのような意見を求めているかわかりにくい。アンケートのような一定の書式を用意した方がいいのではないか。また、分野別課題は、誰もが反論できない理念ではなく、賛否両論あったとしても具体的に書いたほうが市民にはイメージしやすく、議論を喚起しやすいのではないかと。	パブリックコメント
			討議要綱の読みやすさ	討議要綱は、読み手に伝わるように最大限の努力をすべきである。わかりにくい言葉について市のホームページを利用して言葉の説明をしてはどうか。	パブリックコメント
			討議要綱の構成	討議要綱のどの部分が、が基本構想で、どこが長期計画か。本来であれば、この基本構想を先につくった上で長期計画をつくっていくというのが普通の計画論ではないかと考える。	市議会全員協議会
			討議要綱の構成	「4つの基本課題」と「分野別課題」の間に、綱領と言うべきものが抜けている。何を指すのか、その理念・目標を、書いて、その後が分野別課題を記述すべきだ。ここは非常に不本意である。夢がないということと同じであり、まちとして何をしたいのかということも明記すべき。どういうまちにしたいのかということもまず記述すべきと考える。それについての見解を伺う。	市議会全員協議会
			討議要綱の構成	この10年間、どう武蔵野市にするんだというのが前提にないと、ここに出てくる基本課題とか分野別の課題が出てくると考えている。	市議会全員協議会
			個別計画との関係	分野別のところの記述を見ると、個別計画に近過ぎる。個別計画との整合性とあるが、明らかに個別計画に拘束されてしまっているという面が見受けられる。	市議会全員協議会
			議論の討議要綱への反映	市民会議もしくはワークショップでの議論がどういう形でここに生かされているのか。	市議会全員協議会
			市営経営の観点	討議要綱を通して、市営経営という観点が出てこない。市営経営という観点でもう少し書き込みした方がいい。	市議会全員協議会
			現状認識	社会の状況についての認識を、もう少しはっきりと書くべき。高齢化を迎える状況、若者の非正規雇用の状況、子どもの貧困等。全部市役所がすべきことではないにしても、直面している時代の厳しさを、しっかりと議論し、市民と共有し、大きな課題として認識すべきだ。	市議会全員協議会
			前計画で未実施の施策	第四期基本構想・長期計画及び調整計画で残したこと。今回の第五期基本構想・長期計画を策定に当たって、前提としたいと考えていることがあったら教えて欲しい。	市議会全員協議会
			市長のマニフェストとの反映	二元代表制の一翼が首長である市長である。市長のマニフェストについては、どの程度、この計画の中に反映しているかと考えているか。	市議会全員協議会
I はじめに	3. 策定の流れ		計画案公表後の関係団体市民会議の開催	討議要綱については関係市民会議があるが、計画案については関係市民団体との意見交換がないのはどういう意味か。	関係団体市民会議(発言)
I はじめに	3. 策定の流れ		計画案公表後の関係団体市民会議の開催	各関係団体は、市の施策を享受するだけでなく、市政の一端を担う性格も持ち合わせていることから、計画案の公表後も関係団体市民会議を開催すべき。	パブリックコメント
I はじめに	3. 策定の流れ		関係団体市民会議への案内送付基準	当会には関係団体市民会議の案内がなかったが、どう基準で選定しているのか。	パブリックコメント
I はじめに	3. 策定の流れ		法人会へのヒアリングの実施	企業の意見を反映するために、法人会の代表者らにヒアリングを行っていただきたい。	パブリックコメント
I はじめに	3. 策定の流れ		前回との策定方法の違い	前回、市民会議という形で公募委員により100名規模の会議をやった。その後に策定委員会をやった。今回は、公募市民の会議は10名である。また、今回は、そのほかにワークショップという手法を用いている。策定委員に前回との違いについての感想を聞きたい。	市議会全員協議会
I はじめに	3. 策定の流れ		策定委員の意見の反映	策定委員会で、行政の方針と違う意見が出た場合に、どのような議論があったか。もしくは、委員の意見が盛り込まれた場合、その内容を聞きたい。	市議会全員協議会
I はじめに	3. 策定の流れ		策定スケジュール	前半、後半ともに後2~3ヶ月の期間があるべき。市民会議も、市民が市政に関心を持つきっかけとしての意味はあるが、それ以上を期待するのは無理である。	パブリックコメント
I はじめに	3. 策定の流れ		策定スケジュール市民会議のあり方	「考え方」は納得できるが、今回の策定方式・スケジュールはそれにふさわしいものではない。	パブリックコメント
I はじめに	3. 策定の流れ			「長期計画づくりとは何か?」「何を議論すべきなのか?」の共有認識を作るべき。	関係団体意見シート
II 計画策定の基本的な考え方			行政の役割	5つの基本的な考え方は、その通りと思う。しかし、行政の役割が示されていないのではないかと。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方			武蔵野市ならではの特色	長期的視点での「武蔵野市の将来の都市像」を明確に打ち出し、「武蔵野市ならではの」新たな特徴、アイデンティティーを長期計画の中に示すことで、武蔵野市民であり続けたいと思う強い求心力を高めてほしい。	圏域別(中央地区)意見シート
II 計画策定の基本的な考え方			福祉	福祉というものを真ん中に据え、質実剛健な運営をしてほしい。	関係団体市民会議(発言)

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
II 計画策定の基本的な考え方			学びあいの公助	長期計画策定の考え方の基本に「学びあい」を公助することを入れてほしい。	関係団体意見シート
II 計画策定の基本的な考え方			男女共同参画推進施策の明記	男女共同参画推進施策について、幅広い分野にまたがる、優先度の高い施策である事を、「計画の基本的な考え方・基本的な視点」に明記すべき。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方			まちづくりについての考え方	どういうまちをつくりたいのかについて、委員の方から答弁していただきたい。	市議会全員協議会
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		市民自治の原則に関する市民の責務	市民自治の原則は、市民の福祉の推進については市の基本的な任務であり、これについては市がやるべき、と書くべき。	関係団体市民会議(発言)
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		市民自治の原則の立て直し	5ページに「『市民自治の原則』の継承」とあるが、現実には市民自治の原則は壊れているので、継承よりも立て直しが今回の計画の大きなテーマではないか。	圏域別(吉祥寺地区)発言
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		行政と市議会議員に望むこと	市民自治が芽生えてきたときに、行政が失望させるような行動をしないことが大事。市議会議員は何のために議員になったのか、チェック機関であることを忘れず、住民感覚をいつも身につけて動く必要があることを感じてほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		市民自治の原則に関する記述	「豊かな実感できる、幸せな社会」にするための道筋を示す計画であること明記すべき。市民自治の原則は「参加、協働」であり、住民ニーズと行政を結びつける回路を強化するために「情報公開、議会改革、住民参画」の必要性を明記すべき。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		市民自治の原則	30～40年を見通す視点を持ち、自ら考え、主体的に行動し、その行動や選択に責任を負うのが市民自治の原則。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		「市民自治の原則」と自治基本条例	基本的な考え方の中で、「市民自治の原則」の継承、極めて大切。自治基本条例についてどのように考えるか。このルールづくりは極めて重要であり、市長からは、任期中に策定したいと回答があった。この件については、どのようにお考えか。	市議会全員協議会
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		地方分権、地域主権に必要な仕組みの整備	地方分権、地域主権に必要な仕組み(例えば自治基本条例)を本市においても早期に実現すべき。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		職員参加の位置づけ	職員参加は、現実には役人主導を招くことにもなる。職員参加はあくまでも市民参加を助けるものであり、市民主権・市民参加が市政の基本的理念であることを明確にすべき。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		計画策定へ及び計画の実施過程への市民参加	計画策定への市民参加と計画の実施過程にあたっての市民参加についての構想の記載。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	1. 「市民自治の原則」の継承		定住型社会の全国的なロールモデル	廣井良典氏が言う「創造的定常型社会」について、市民自治ということ、それから豊かな緑という中で、武蔵野市は定常型社会の全国的なロールモデルとなるような理念を入れていくべきでないかと考えている。御意見を伺いたい。	市議会全員協議会
II 計画策定の基本的な考え方	2. 市民視点の重視		情報を広く知らしめた上での財政計画の必要性	基本的な考え方の中で「市民視点の重視」とはいうが、市民はどこまで知らされているのか。例えば下水道は、一定程度の雨が降ったときに、他区市の河川に、雨水が越流し、汚水とともに垂れ流しの状態になっている事実は、多くの市民に知られていない。これは当然、広報・広聴の問題でもあるが、長期計画を策定する上、そのことに踏み込み、市民の理解の上で、これからの財政計画につなげていくのか。	市議会全員協議会
II 計画策定の基本的な考え方	3. 個別計画との整合性及び本計画の総合性の確保		長期計画と個別計画の関係	個別計画の上位計画というよりも、個別計画の優先度を定める計画、つまりは総合的な実行計画、調整計画の調整計画になってしまうのではないかと。本計画と個別計画の関係を見る化し位置づけるべき。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	3. 個別計画との整合性及び本計画の総合性の確保		長期計画と個別計画の整合	個別計画との整合については、大切なこと。近隣自治体では、個別計画を全部10年単位でそろえことによって、長期計画との整合性を高める取り組みが始まっている。このことをどう考えるか。	市議会全員協議会
II 計画策定の基本的な考え方	3. 個別計画との整合性及び本計画の総合性の確保		個別計画の位置づけ	各個別計画より上位にある長期計画の策定委員会として、すでにある計画を、市民参加で策定されたからといって無批判に尊重するというのであれば、今回の長期計画は、課題A以外の殆どの分野について、策定済みの個別計画に丸投げしたのと同じであり、極めて無内容であるといわざるを得ない。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	4. 長期的な視点の重視		長期的視点の必要性	30～40年を見通す視点の必要性についてまったく同意。今後は、バックキャスト手法を用い個別計画においてもこのような考え方をすべき。	パブリックコメント
II 計画策定の基本的な考え方	4. 長期的な視点の重視		投資型・政策型思考による策定	「長期的な視点の重視」は大切。この中に「将来に向けた投資型・政策型思考により策定を進める」という言葉があるが、これがどう議論の上で出てきたのか。	市議会全員協議会
II 計画策定の基本的な考え方	5. 持続可能な都市の構築		広義の意味での持続可能な都市の構築の推進	「持続可能な都市の構築」とはそのとおりである。武蔵野市では、持続可能な議論では、緑化、環境等、狭義の持続可能な話になりがちであった。都市は成長するものであって、広義の意味での持続可能という概念で今回の長期計画からぜひ記載していただきたい。	市議会全員協議会
III 第四期基本構想(平成17～26年度)の実績と評価			状況背景への政治的変化の記載	13行目からのセンテンスが意味不明(理解しにくい)。問題認識の捉え方において、状況背景の表現の中に政治的変化を挿入は不要だが、もし挿入する場合は、その様な変化によっての何が変化したのかを表現すべき。	パブリックコメント
III 第四期基本構想(平成17～26年度)の実績と評価			少子化と高齢化の記載	少子化と高齢化は別の問題なので、分けて考えてほしい。	関係団体市民会議(発言)
IV 第四期長期計画・調整計画(平成20年度～)の実績と評価			財政援助出資団体の委託化	財政援助出資団体への委託化は、行革の一課程としては一定の評価ができるが、すでに民間企業や民間法人が行っている給食事業や保育園などは、段階的に完全な民間(企業や社会福祉法人)への委託化へと進めるべきである。	パブリックコメント
IV 第四期長期計画・調整計画(平成20年度～)の実績と評価			財政援助出資団体等への事業委託化の評価	「財政援助出資団体等への事業委託化」を「大きな前進」「評価」としているが制度的な問題点が多い。	パブリックコメント
IV 第四期長期計画・調整計画(平成20年度～)の実績と評価			評価の記載	外部団体の表彰をもって評価との認識は意味があるのか疑問。	パブリックコメント
V 人口推計・財政見直し			高齢者の負担と現役世代の負担	高齢者＝弱者という図式は疑問あり。高齢者は「弱者」に含まれないような方も多い。元気な高齢者の活躍できる場を提供し、負担すべきものは、負担する。一方、現役世代は、地域活動に参加せず、役員等の高齢化・固定化といった問題が生じているのではないかと。高齢者は支えられるだけの存在ではなく、現役世代は若い力を積極的に地域活動で発揮するべきである。	パブリックコメント
V 人口推計・財政見直し	1人口推計		人口推計・財政見直し	今後の人口の予測や財政の見直しなど適切な指摘がされている。国や都が打ち出している施策・考え方に対して、意見をモノ申していくことが必要。また、人口のデータについては、地元商店の営業の状況や市内の昼間人口についても示すべき。	パブリックコメント
V 人口推計・財政見直し	1人口推計		市の人口構造の変化	いわゆる少子・高齢化、人口減少、近隣関係の希薄化が、どういう内実を秘めているのかという、少しブレイクダウンした指摘をした方がいいのではないかと。要は後から住んでいる方たちの割合が、非常に高くなってきている背景もあり、武蔵野市の質的な構造の変化を記載すべきだ。	市議会全員協議会
V 人口推計・財政見直し	1人口推計		人口構成のコントロール	積極的に人口構成をコントロールする発想が見当たらない。少子高齢化対応の基本テーマとしての次の時代を担う人材育成の配慮が見当たらない。	パブリックコメント
V 人口推計・財政見直し	1人口推計		少子高齢化対策	まず少子高齢化対策を具体的に議論してほしい。	関係団体市民会議(発言)

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
V人口推計・財政見直し	1人口推計		合計特殊出生率の数値目標の設定	この10年で、合計特殊出生率について、具体的な数値目標を立てることができないか。働く親への支援等、少子化打破のための方策を皆で考えていけるべき。	パブリックコメント
V人口推計・財政見直し	1人口推計		人口推計に過度に頼らない、子ども施策の推進	保育園の待機児童対策をこの人口推計のみに基づくのではない政策が求められる。子ども施策を市として積極的にとりむ必要がある。	パブリックコメント
V人口推計・財政見直し	1人口推計		出生率の上昇を目指すべき	武蔵野市としても、出生率の上昇を目指すべきだという記載を加えるべきだ。考えを伺う。	市議会全員協議会
V人口推計・財政見直し	1人口推計		大型マンションの建築動向と人口推計	最近大型マンションが建築されつつあることを踏まえ、人口推計を行ったのか。	市議会全員協議会
V人口推計・財政見直し	2財政見直し		豊かな財政力の活用	常に厳しい財政見直しが語られているが、市民に対して、科学的な根拠に基づいて説明されているとは言えない。武蔵野市は全国的にもトップレベルの財政力があり、この財政力をどのように市民の基本的な人権や、市民自治の拡充、生活環境の整備に使うかが問われている。	パブリックコメント
V人口推計・財政見直し	2財政見直し		大型マンション建築に伴う新市民の担税力及び固定資産税の見込み	大型マンションの建築に伴う、新たな市民の担税力と固定資産税をどの程度見込んだのか。	市議会全員協議会
V人口推計・財政見直し	2財政見直し		将来の借入金の限度額	大型工事や都市の再生に伴う、借入金の限度額をどの程度見込んでいるのか。	市議会全員協議会
V人口推計・財政見直し	2財政見直し		財政見直しの明確化	財政というところで、記述がちよっと弱い。財政見直しをもう少し議論してほしい。	市議会全員協議会
V人口推計・財政見直し	2財政見直し	—	財政問題についての、策定委員会での議論	財政問題について策定委員会の中ではどういった議論があったのか。行政がつくった資料そのままではなく、策定委員会の中でどういった独自の議論をしたのか。	市議会全員協議会
V人口推計・財政見直し	2財政見直し	1財政の状況と課題	豊かな財政力	財政力指数1.67、実質交際比率2.1%であり、豊かな財政力である。	パブリックコメント
V人口推計・財政見直し	2財政見直し	1財政の状況と課題	市民要求に応えるための基金の使用	借金残高よりも基金が大きくなっており、基金は毎年増加の一途である。基金288億円の一部を使えばかなりの市民要求に応えることができる。	パブリックコメント
V人口推計・財政見直し	2財政見直し	1財政の状況と課題	地方財政のあり方の検討	地方財政のあり方を市民とともに検討する必要がある。市民ニーズを実現できる財政改革を市民とともに開発し、国や都に提言すべき。そのために市は情報公開を積極的に行うべき。扶助費増加を抑制するような記述は適当ではない。	パブリックコメント
V人口推計・財政見直し	2財政見直し		財政計画の記載	財政計画について、前回同様、長期計画の中に記載するのか。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題			基本課題の提案	①くらしに不安のないまち武蔵野の実現 ②緑と武蔵野らしい住環境をまもり”循環型”社会 ③住民自治・民主主義の根付くまち武蔵野の実現 ④人間が成長する場としてのまちづくり	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題			4つの基本課題	4つの基本課題について、私は全く異論はない。大きな方向性は、策定委員の皆様と同じ方向を向いている。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題			子ども・教育分野の重視	これから武蔵野市は子ども・教育分野に焦点を当てるべき。教育・子どもについてを重点的にやっていくという文言を何かしらで表現すべきである。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域コミュニティ活動に携わる人からの意見聴取の必要性	地域コミュニティが今回の策定の中の1つの大事な柱であり、別に意見を聞く場をもうけるべき。特にコミセンとか地域福祉といった場合、地域によって非常に違う。私たちが30年以上試行錯誤してきて今到達しているところや、今後の展望、希望について、聞いてほしい。大勢の人の知恵で地域コミュニティの部分を検討してほしい。	関係団体市民会議(発言)
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域に向き合う部署の設置及び地域住民自治の体制確立	地域に向き合う部署を設置し、そこを通して各部署は市民と連携してほしい。地域住民自治の体制を確立することも必要。地域活動を地域において統合する組織を提案してはどうか。その前提として現在の「住区」割りは小学校区または中学校区を念頭に再整理すべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		市民活動、ボランティア、協働等の言葉の定義	市民活動とは市民が自らの価値観、信念、関心に基づき、自分たちの生活とコミュニティの貢献を目的に自発的に行う活動のことを言うのが一般的であって、民生委員や消防団は、一般的に言う市民活動とは違う。ボランティア、市民活動、協働などの定義を明確しておくべきである	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティの支援、町内会等の組織の構築	コミセンや青少年協、福祉の会、学校、商店会や各種団体など、目的別・性質別コミュニティへの支援を拡充させるとともに、地域における共通の公益・利益の促進のための任意団体・地縁団体たる「町内会(自治会)とその連合体などの組織構築も検討すべきである。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		今後の地域コミュニティ形成に向けた方向性の記述	問題の所在が明らかにされているが、問題点の整理と理念を語るのみで、今後の展開方向やそのための政策課題が書かれていないのは大問題であり、今後の地域コミュニティ形成に向けた方向性や見通しが全く読み取れない。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティ研究連絡会への意見聴取	「地域コミュニティ」に関しては、コミ研連に声をかけて、コミ研連を中心にコミュニティセンターで活動している方たちの意見を聞くべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミセン・行政の協働・連携の仕組みの構築	コミュニティセンター(コミュニティ協議会)と行政が協働・連携し、相乗効果を発揮できる仕組みを作っていく必要がある。行政側はあらゆる部署の職員がコミセン(コミュニティ、コミュニティ協議会)を意識することが必要であり、コミセン側も、積極的に行政に声をかけていく必要がある。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティ構想の欠点	①職員を阻害したこと②市民を「出来上がった市民」とみて、社会教育・生涯学習を軽視したこと。ふるさとづくり職員参加は必須である。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティ地域の再編	地域リハビリテーションの推進を考える時、「小地域完結型」福祉のエリアの捉え方が一部地域を除いてバラバラである。これをどうとらえるかは、今後の大きな課題である。現在の状態では、参加する住民に負担が大きい。関係者の合意を得ながら抜本的に洗い直し、再考すべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティ活動の継承	コミュニティに関しては自主三原則のもとで、「自主参加」のところ、三原則を策定した当時と今とで、また状況が変わってきていると思う。自主参加というが、参加したいけれども、できないという方が非常に多くなってきている。また、高齢化が進んでできないとの声も当然ある。次世代への継承がうまく進んでいない状況である。これから長期計画を策定する中で、どういう形で手を差し伸べて、また育成していくのか。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		市民活動を支える仕組みの構築	市民が市内で全く自主的に活動することは極めて困難。市民が培ってきた力や技術を生かせる場所づくりが必要。そのコーディネーターの役割は行政が担う必要がある。市民活動等を丸投げするのではなく、市の業務の一部と位置づけ多少の報酬を考慮する必要がある。行政が市民活動のきっかけづくりを行いながら市民活動に参加するモチベーションを支える仕組みが必要である。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		参加・参画・協働の場面の学習への公的支援	「学ぶためのきっかけづくり」「場づくり」「仲間づくり」など、多様な学習への公的支援の大方針を持つべき。これは市民参加の市政のあらゆる分野にわたるもので、地域の担い手不足の問題の抜本的改善のための戦略でもある。市政参加の市政においては、職員と市民は良き相棒であるべき。また、コミセンの機能についての検討は、主体者である市民・職員の意向が反映されるよう、その過程が協働と学びの場になるようにすべき。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		学び合う協働に対する行政の支援	学び合う協働に対する参加のきっかけづくり等には、私的な呼びかけより公的な(なかでも「市」の)支援が有効である。何をやらねばいいかわからない人等に対する具体的援助など、行政や公的機関だからこそできることは、沢山あり、大きな力を持っている。あらためて「行政の役割」を過去にこだわらず、新たに考えるべきではないか。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		住民の意見を重視した議論	30年にわたり地域に即した実績を積んでいる。行政や学者の意見より実地で経験した住民の意見を重視して議論が進められることを希望。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域コミュニティにおける組織の固定化	記載内容その通りと思う。地域コミュニティにおける組織の固定化は恒常的な課題である。これを打開する対策があれば、基本構想に記載すべき。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域コミュニティのあり方	これまで目指してきた自律的・自発的な市民活動を継承しながら、様々な新たな「縁」をつなぐ地域コミュニティについて、継続・発展させていくのがいいと思う。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域コミュニティのあり方	「地域コミュニティのあり方」に、個人情報の共有のあり方かという記述があった。個人情報の運用の仕方をもう少し柔らかくした方がいい。そのために、行政でも一定のルールをつくるべきだ。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域コミュニティのあり方	コミュニティの再編とかコミュニティのあり方の検討は市民が考えていかなければいけない。ここで市民が自治するということは、行政がガバナンスするということのせめぎ合いになる。第五期基本構想・長期計画の策定過程で十分丁寧な議論が必要である。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		新たなコミュニティを展望した中でのコミュニティセンター	コミュニティセンターについて、公の施設であり、指定管理者制度によって運営されている。管理・運営のあり方を展望した中でのコミュニティセンターなのか、それとも新たなコミュニティをこれから展望していく中で、地域の拠点としての位置づけは変化してくるのか、こういったことを十分議論すべき。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域の課題解決とコミュニティ	いろいろな課題とか問題が、地域コミュニティのあり方に集約されることに危険性を感じる。それぞれの地域の課題を解決するために、コミュニティが後からついてくるのが解決だと考えている。それを最初からコミュニティをつくるということが前提となると、課題が見えにくくなり、課題が分散され過ぎてしまう。市民と行政と民間が一纏めに取り組むためにどうするかという視点をうまく入れてほしい。この点、今後、どのように展開していくか。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミセン及びコミュニティの用語の整理	コミュニティのあり方の検討に際して、整理が必要である。また、コミュニティの物理的な地域というのをどう形であらうかということも、今後考えていかなければいけない大きな課題の一つである。地域の考え方についての、これまで議論を伺いたい。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティにおけるメンバーの固定化	目的別・分野別コミュニティにおいて、メンバーが固定化している現実がある。いかに解決の方向に向けていくか、その基本的な方向性についての考え方を伺いたい。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		地域コミュニティのあり方	重要な課題であり、行政のみではなく市民全体で考えるべきだと思う。非常に難しい課題であり、だからこそ課題として記載すべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		コミュニティとコミュニティセンターの整理及び町会の必要性	コミュニティ構想は町会も含めたコミュニティ構想である。コミュニティセンター増え、コミュニティセンター構想とコミュニティ構想が整理されずにいる。この長期計画の機会に整理すべきである。コミュニティ構想があるために町会制度が育たないというのは、あってはならないことである。本市の状況は、本当に特殊な状態である。この10年間で本当に困った人を救い出すのは、コミュニティセンターではできない。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		担い手のデータベース化	一番の問題点は担い手の固定化である。より多くの人が少ない負担で、参画できるような仕組みを考えるべき。全市民に意向調査をし、必要な協力を求めるなど、市民のデータベース化ができないか。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		集合住宅への対応	今後の10年間を考慮した場合、課題として「増加する集合住宅への対応、特に分譲マンションの増加への対応」を加えるべきである。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題A地域コミュニティのあり方の検討		市政のあり方	地域の課題を地域コミュニティのあり方により解決する提案に留まっているが、課題解決には市政のあり方を明らかにしなければならない。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		住み続けられるまちとしての本市の課題	「課題B住み続けられるまちの構築」について、住み続けられない理由を策定委員会の中でどのように考えたか。私は、住宅の問題が、武蔵野市における一番の課題だと考えているが、策定委員の考え方を伺う。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		市政の役割	行政がサービスの提供主体から調整主体へと制度を変え、市民の選択制を導入したことにより、市民生活に負担を押し付ける結果となっている。サービスの提供主体としての市政の役割や調整主体としての市政の役割について再度見直す必要がある。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		包括的な支援	行政は申請主義ではなく包括して対応し、市民も協働して、困っている人を支援するシステムを構築すべきだ。考えていただきたい。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		公共サービスの明確化	しっかりと議論するためには、公共サービス(電力やガス等も含む)の対象を限定する必要がある。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		失業者等の記述	課題Bについて先を見通すことができずに不安を感じている層として、失業者及び非正規労働者を加えるべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		タイトルと内容の不整合	課題Bのタイトルと内容が不整合である。本文の内容と整合したタイトル(たとえば、「市民視点の公共サービスのあり方の検討」)にすべきである。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		「福祉でまちづくり」についての意識の徹底	住民のくらしにかかわる全てのことを対象とする「地域福祉」という考え方、活動があり、それをまとめる考え方が「福祉でまちづくり」である。行政の全分野、市議会、市民がそれぞれの活動、立場の中で、この考え方を取り入れるべきだ。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		公共サービスの体制強化	公共サービスによる支援や援助の全貌を把握した上で、個別の生活ニーズに応じたサービスを選択し受けられる仕組みや将来の生活に必要な情報を的確に得られる体制の強化について期待している。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		地域リハビリテーション	地域リハビリテーションの理念は素晴らしいが、仕組みが理解しづらい。情報提供と早急な推進を望む	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		地域リハビリテーション	医療との連携と言う場合、医療機関における縦の連携と、医療機関と他の職等とのこの横の連携がある。また、専門職としての範囲を超えて、地域における、介護職とか福祉職に当たる人が行う医療補助行為、知識の涵養、それから軽微な医療行為まで踏み込む必要があるのではないか。この点を検討すべきと考えているが意見を求む。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		地域リハビリテーション	国で、福祉サービスを提供することに対応した住宅改修に対して、補助金を出すという考えがある。それにリバースモーゲージをセットし、高齢者への住宅提供について国が動き出していると聞いた。市独自でどこまでできるかということはあるが、そのことを踏まえた記述をすべき。住宅の提供の仕方についてもいろいろ工夫をして提供していくことができるのではないか。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題B住み続けられるまちの構築		地域リハビリテーション	地域リハビリテーションについて、組織、ソフトの面も、つくればいいというものではないが、拠点をづくり、それをうまく機能させることを検討すべきではないか。	市議会全員協議会

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題C市民施設ネットワークの再構築		公共施設の有効活用	市の施設130カ所をいかに有効利用するかという課題があるが、例えば保健所の跡のように都のものであっても武蔵野市にあるものは全体として考えてほしい。	関係団体市民会議(発言)
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題C市民施設ネットワーク再構築		市民施設としてのコミュニティセンターの位置づけ	公共施設、社会資源が十分に存在している中で、三層構造でのコミュニティのあり方をよく検証して、市民サービスを受ける市民の方々に十分に議論していただく必要がある。これまでどおり、多主体で多目的の地域拠点としてコミュニティセンターを考えるとのであれば、それなりの集中した議論が必要である。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題C市民施設ネットワークの再構築		公共施設の有効活用	今あるものを最大限に活かすことが重要。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題C市民施設ネットワークの再構築		対象施設の明示	再配置の対象施設で、市民生活に直接影響があり、導入時に大きな議論が起こりそうなものについては、計画の中で、明示しておくべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題C市民施設ネットワークの再構築		ネットワークの中の施設の位置づけ	課題Cには施設の再整備については書かれているが、ネットワークのことはほとんど書かれていない。市の施設を検討する上で、各施設をどのようなネットワークの中に位置づけるかを考えてほしい。 ②について、行政だけでなく、NPO、市民活動、コミュニティとの協働の中で課題に対応していく視点を盛り込んでほしい。 ⑤の箇所には、イニシャル・ランニングコスト、利用状況などの整理・分析・公開を議論の前提にしておくことが書かれているが、「今後の公共施設配置のあり方について」ではコストのことや、機能の検証について不十分な部分が多い。行政と市民とで情報共有する場を準備し、そこで検討されたことを踏まえて、今後の公共施設の提示をの形を最終的に決めていくことを計画の中で伝えてほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		行政の資本投資と市民のコンセンサス	4つの基本課題では、「分野を越えた担い手」「市民自治の原則」とあるのに、課題Dは行政でやることしか書いていない。行政の資本投資に対して市民が適切な判断を下し、コンセンサスを得られるものを加える必要がある。	関係団体市民会議(発言)
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		都市基盤の再整備	インフラ整備が必要と繰り返し強調されているが、その方向性や具体的にどう取り組んでいくかが明記されていない。また、費用についてのデータが十分に明らかにされていない。議論できるデータや市の考え方を明示すべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		都市インフラや公共施設更新等の財源見通	試算の数字の根拠が不明確。都市インフラや公共施設更新等の費用は、十分に計画的に執行が可能。詳細な責任ある財政計画を立てるべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		水道事業のコストの明示	厚生労働省は「地域水道ビジョン」の策定を推奨しているが、武蔵野市ではそれを策定したとの公表資料はない。武蔵野市は水道事業の将来の見通しを市民に明らかに説明できていない。市のHPを利用して水道事業の運営状況や将来の見通しについて、公開するだけでなく、市民に伝わるように工夫をすべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		都市の再構築についての周知	職員・議員には認知されているが、一般市民まで浸透していない。市民への広報や説明に力をいれていくことを記載すべき。	パブリックコメント
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		ユニバーサルデザイン	バリアフリーという言葉ではなく、ユニバーサルデザインという言葉を使うべきだ。だれにでも使えるサービスとか情報ということに視点を変えていっていただきたい。ただし、「心のバリアフリー」というところでは、その言葉でないとまらない。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		武蔵野市や吉祥寺の人気の理由	極めて今回の課題で大事なものは課題D、都市基盤の再構築である。歴史に学ぶと、今の吉祥寺や武蔵野市を成り立たせたのは、3つの要素がある。1つは、市民参加の歴史。2つ目は、愛市公債を含む、まちへの市民の貢献の場を行政や政治が与えたこと。そして3つ目は早期にインフラ整備を行ったこと。委員には、今の武蔵野市や吉祥寺の人気の理由について考えを伺う。	市議会全員協議会
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題	課題D都市基盤の再構築		都市基盤整備当のコスト	今後の主要な都市基盤整備等にかかるコスト試算について、足りないと思う。	市議会全員協議会
VII分野別の課題			記載項目の数値目標等	討議要綱に挙げた各項目が、近隣あるいは全国平均と量的に比べて、現状と第五期が終わる時とでどう数字になるかを明確にしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題			記載項目の具体化	長期計画はともて上手に書かれ文章はともてすばらしいが、それをいかに具体化するかのことが足りない。ぜひ具体化してほしい。特に、職員との協働という場面で力量をお互いに上げていきたい。	関係団体市民会議
VII分野別の課題			事業の優先化・重点化	都市基盤以外の分野における優先化・重点化に関する記述が見られない。	パブリックコメント
VII分野別の課題			支出の推移の記述	論点に関する議論の前提として、①現在政策分野ごとに市民一人当たりだけの支出がされているか、②今後政策分野ごとに市民一人当たりだけの支出の増大が見込まれるか(現状推移パターン)を明らかにすることが望ましい。	パブリックコメント
VII分野別の課題	1健康・福祉		日常生活圏域	地域の特性に合わせて日常生活圏域を明確にし、その拠点となる施設等を明確にし、地域ごとに不足しているサービスを出していくことが必要。かつ、それぞれの生活圏域におけるコミュニティの特色をいかに活かしていくかということも含めて、総合的に具体的な仕組みをどうつくるかというのが課題。その方向性を明確にしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉		データの公開	孤独死や生活保護等いろいろなデータを出してもらわないと、議論が進まない。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉		扶助費の抑制	扶助費を下げる、抑制というのは現実を無視している。1人当たりの保護費が下がっている理由を研究してもらいたい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉		高齢者支援政策経費の抑制	社会保障給付費においては、高齢者等の構成割合が突出して高い。また、高齢者を対象とした給付は、負担能力とは関係なく年齢のみが基準であり、無駄と不公平が指摘されている。高齢世代を支援する政策と、その高齢世代を支える現役世代を支援する政策との間の優先化・重点化に関する議論を回避してはならない。特に高齢世代を支援する政策の経費抑制に踏み込むべきだ。	パブリックコメント
VII分野別の課題	1健康・福祉		相互扶助の精神の涵養	今後高齢者が増え、それを支える世代が少なくなると、社会保障制度についての世代間の意識の格差が更に広がると思われる。討議要綱には世代間の助け合いについての記述が見られない。相互扶助の精神がなくなれば、医療に限らず様々な分野で弊害の恐れがある。	パブリックコメント
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	市の役割	健康・福祉の市の役割に書いてあることは、市の役割ではない。例えば医療と福祉をネットワークする具体的な仕組みをつくる。など問題をしっかり組み込まないと、市の役割を果たすことにならない。今後、議論してほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	行政の役割	自助、共助、公助について、はっきり言う行政側から出ている。市が何をやるのか各分野ごとに示さない、一緒に協働はできない。これらについてどう考えるのか。	市議会全員協議会
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	福祉関連団体の改革	第四期では福祉関連の組織について改革をしつつあると書いてあったが、何が改革されたのか。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	役割分担と団体のあり方	福祉関連団体の改革をしつつ、行政がやることと団体がやるべきことを明確に見直すということを計画に入れてほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	市民社協の事務所	市民社協を市の土地建物の中に入れるということを長期計画の中にきちんと入れてほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	総合相談窓口や専門家や関連機関、住民のネットワークを形成	地域密着居住系サービスを各地域へ配置すべき。また、地域包括支援センター(武蔵野市では在宅支援センター)に生活圏域の拠点として総合相談窓口や専門家や関連機関、住民のネットワークを作るべき。	パブリックコメント
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	マンション住民と地域のコミュニケーション	災害時要援護について、市はマンション管理組合や住民と地域が話し合えるツールを確立してほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	1健康・福祉	1)役割分担と連携・協働	介護者の人材育成	福祉に携わる人が不足している。研修だけでなく、従事者が安定した生活が送れるよう独自の支援をすべき。それにより、働く人の質が向上と、サービス事業者の育成が図れる。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の論点	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	新たな福祉ニーズへの対応	今後のいろいろな価値観の転換という意味も含めて、多様性を認めていくことをどうとらえるか。分野別の課題の新たな福祉ニーズへの対応というところに、就職難や生活しづらさやと直接感じている若者、あとは高齢とか障害者の方の御家族の方、サービスが必要な人たちの奥にいる人たちというのが、もうちょっと課題として浮き出でていいのではないかな。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	高齢者の孤立化対策	本市でも女性を中心に高齢者の単独の世帯が相当ふえている。災害時要援護者対策事業に手を挙げられる方以外に、まだ家庭にもっている方は相当いる。この対策について、もっと取り組んでほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	1) 役割分担と連携・協働	事業の廃止・縮小への言及	効率的な事務執行だけでなく、事業の廃止・縮小を提すべき。行政がどこまで対応するか示すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	市職員の地域実態の把握	市職員が現場で実際に市民と対面する機会が減っている。介護保険の改正、健康福祉総合計画の改正にあたり、当事者の実態を盛り込み、本当に実行力のあるものにしていけるか、それを実行するのは誰なのかということも議員も市民も緊張感を持って考えないといけない。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	市職員の地域実態の把握	市職員が孤独死など地域のことをつかんでいない。地域でがんばっている人はたくさんいるので、それを取り上げて全市に広げてほしい。公が関わるべきところ、育てるべきところは継続してやってもらいたい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	孤立死	孤立死をなくせる、孤立死がない社会をつくる、など、私たちがどういうことを目指すかということがはっきり具体的な論議の仕方をしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	人と人の関係作り	孤立の問題、買い物に行けない人の支援等、人と人の関係を作るのが大事であり、長期計画ではそこをしっかりと押さえてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	前提条件の具体的提示	20年後に超高齢者社会になるときに武蔵野市はこうなっていなければならないということをはっきり、具体的に訴えかけて、その上でこうするんだという発想が抜けているのではないかな。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	精神障害者収容施設10年計画	武蔵野市には精神科の病院はない。精神障害者の目からみると武蔵野市は決して住みよいまちとは言えない。かかる状況の下で病院はともかく、精神障害者自立支援を少なくとも10年先には機能して欲しい。自前の自立施設設立を決断すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	各種制度の提案	安心の入院制度をつくる取組みの推進。75歳以上の医療費の負担軽減の検討。高齢者見守り制度等の拡充。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	2) 新たな福祉ニーズへの対応	高齢者の買い物難民対策	高齢者の買い物難民について記載しべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	障害者サービスの総合案内	課題①の「公共サービスによる支援や援助の全容を把握した上で、個別の生活ニーズに応じたサービスを選択し受けられる仕組みや、将来の生活に必要な情報を的確に得られる体制」は非常に重要。障害者の1人1人の人生設計まで関与する必要がある。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	地域リハビリテーションの具体化	地域リハビリテーションの考え方はとてもいいが、具体的な施策が充てていない。地域の中で、一見関係ないようなところでも福祉の視点を入れていくことが今はとても大事。このことを計画の中に具体的にに入れてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	高齢者等に対する相続等相談業務の窓口設置	高齢者に対する相続等相談業務は、今後ますます重要になってくる。これを総合的に相談できる場所を設置すべき。武蔵野プレイス等に設置してはどうか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	地域の相談窓口	地域で相談を受ける人がいなくなっている中、地域リハビリテーションもいいが、小地域完結型福祉をやってほしい。コミュニティ構想には①職員を疎外した、②社会教育や生涯学習をなおざりにした、という2つの欠陥がある。職員と市民が同じ場で顔の見える関係になり、学びあうことが絶対に必要。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	地域リハビリテーションの具体的な推進	地域リハビリテーションの理念に基づき、実行することを宣言し、実行の必要性を提案すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	小地域完結型福祉に向けた取組み	小地域完結型福祉の推進のためには、地域の方の強化が不可欠。地域の中に住民の活動を包括的に支える「包括支援センター」があれば住民の安心感が増し、福祉活動の楽しさも大勢に伝わることで、活動参加者が増えると言う参加の上昇スパイラルが生まれる。行政は、こういう基盤をつくるのが大切である。「市民の役割」とともに、「行政の役割」として、市民参加の市政における市民を支え、励ますことなど、市民社協と協力しながら総合的な支援、協働をすすめる。「行政の役割」の重要性をしっかりと位置付けることこそ重要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	「地域包括ケア」の確立	いつまでも理念の段階でなく実現に向けて踏みこむべき。「地域包括ケア」の確立を提すべき。「住まいづくり」も福祉課題と連動すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	雇用に関してより積極的に記述すべき	個別の政策に関する記述についても、Ⅵ分野別の課題の1健康・福祉3) 地域リハビリテーションの推進に「雇用」も加えるべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	保育、療育、教育の連携	教育、子育て福祉部門が連携体制をつくり、一貫性のあるものにすべき。現状横のつながりが弱い。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	まち全体で子どもや高齢者を見守る仕組み	広い意味での防災・安全活動として、まち全体で子どもや徘徊高齢者を見守る仕組みが必要である。民生委員に頼るのではなく、お隣同士が支え合うことが大事。しかし、個人情報問題あり。独居高齢者も多く、孤立化対策も必要。高齢者も用心深く感じている方も多い。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	医療の連携	討議要綱には医療の問題が触れられていない。在宅医療体制の強化をすべき。病院から地域の診療所などへの照会システム等、必要であれば福祉分野にも繋げていくシステムを構築すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	福祉等についての相談	福祉等についての相談を、必要な人が利用しやすいようにすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	3) 地域リハビリテーション	福祉に関わる行政内の連携	福祉サービスメニューは充実しているが、行政のタテ割りや連携が不十分なため、必要なサービスに行き着くのが難しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	市民と行政のあり方	地域がくたびた原因は、一つには行政にもある。今後議論してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	地域活動の活性化	福祉は社会資源の活用、地域へのお任せだけではよくなっていかない。市、行政がかかわって、活性化させるためには、どうすればいいかということも討議してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	地域福祉活動の担い手	西久保福祉だよりを配布する人の確保が難しい。行政のほうで何とか手を回してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	地域福祉活動のあり方	少子高齢化社会において、地域福祉のあり方の大胆な見直しが必要。その人の総合的な暮らし及び死をも含めて考えるべき。そういったことは急がなければならない。人口問題や、産業の活性化ということも踏まえ、皆がチームで、明るく、その人の質を守りながら、その人らしく武蔵野市で見送るといことも考えなければいけないと思っている。その辺についてお尋ねしたい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	団塊世代の地域参入	団塊世代の方たちの地域参入を促進していくことも求められる。男性は生涯学習には参加しているが、地域活動への参加が少ない。新しいボランティアの形として、麻雀・囲碁など特技を活かした活動の場があるとよい。そういった活動への参加を奥さんが後押しすることも必要となる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	障害に関する教育	地域の小学校で障害を持った人のことについて話す出前授業をやっている。支援を継続してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	ボランティアの支援	自分たち会でヴァイオリンの慰問演奏をやっているが、市から施設に対して慰問演奏の声かけをしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	音楽ボランティアの支援	当会は障害者等に対する音楽ボランティアをしているので、支援をしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	ボランティアの支援	ボランティア活動をやっている方へのちょっとしたポイント付け等をしたり、ボランティアが素晴らしいと思えるような周囲の盛り上がりを作ってほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	柔道接骨師による地域医療との連携	柔道接骨師会は、地域医療の連携に参加できればと考えている。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4) 地域福祉活動のあり方	民生委員の指導の徹底	民生委員は地域の重要な相談相手であり行政との架け橋であり、役割は重要。役割を認識せず、民生委員にふさわしくない方もいる。民生委員について、市の指導を徹底すべき。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	市民社協への支援	市民社協は公的資金を使って福祉部門を担当している大切な機関なので、場所の面等でもっと大切に取扱いしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	市民社協への支援	市民社協がより働きがいのある職場になり、住民とともに地域福祉の一翼を担う存在として大きくなるよう、自助努力はもちろん市もしっかり責任をもって支援する必要がある。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	市民社協への支援	市民社協は行政の代替的機能ではない。今後の必要性も大きく次世代につなぐため、市が保有する空きスペースを検討すべき。単独でも複合施設でも良い。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	市民社協の強化	福祉公社が実施している「権利擁護事業」を市民社協に統合し、地域の連携強化の中で「権利擁護」も発展できるようにすべき。福祉公社のサービス供給事業は公益性を市民とともに評価して存続の是非を含めそのあり方を検討すべき。物件費の抑制にも通じる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	地域社協と行政の連携	「災害時要援護者対策事業」を民生委員とタイアップし、実施した結果、各地域社協の地力がついた。地域懇談会モデル事業も行政や公的機関との顔の見える関係を築く「協働」の出発点となった。それにより、「地域リハビリテーション」理念の具体化としての「小地域完結型福祉」の重要性を再認識した。行政が住民と向き合い、ともに活動するとき、その力は二倍にも三番にもなる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	地域社協の拠点	市民社協と福祉公社の移転問題でさまざまな議論がされた。地域社協の拠点づくりについて、ぜひ書き込んでほしい。地域社協の事務所は会長宅ということになっている。ぜひ地域社協の拠点が欲しい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	地域福祉の3層構造の構築	地域社協は住民相互の連携を図る組織として「総合相談窓口」をその拠点として、居場所など小地域福祉活動をし、中学校区には、市民社協のコーディネーターなど専門職を配置し、「総合相談窓口」を支援しながら在宅介護支援センターとともに専門職、地域社協代表者を含む地域ケア会議を機能させ、全市的に「総合ケア会議」を設定するという3層構造の構築を検討すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	地域福祉と地域コミュニティ	地域福祉を地域コミュニティのあり方とセットで論じる必要あり。災害時要援護者対策事業の成果・進捗・課題には触れないのか。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	地域福祉の推進	「福祉でまちづくり」を具体化し、各施策、活動、場、施設が福祉の視点を持つよう、行政が先頭に立ってほしい。地域福祉を推進させる上で、行政のあり方、職員への参加のあり方、住民の地域力を引き出す方法等がどうあればよいか、長期計画策定の中で抜本的な議論をしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	長期計画と福祉総合計画	地域福祉について、福祉総合計画に任せるのではなく長期計画で頭出しをするのは重要。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	4)地域福祉活動のあり方	災害時要援護者への対応	大規模災害時の要支援・要援護の地域福祉の会に登録されている方は高齢者が大変多い。元気な高齢者を活用するような方策を考えるべき。	市議会全員協議会
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	5)健康づくりと介護予防	高齢者—高齢者の軽介護システムの確立	高齢者が高齢者を介護する軽介護システムの確立をすべき。地域住民の助け合い、高齢者の生きがい、働き場所の提供にもなる。本システムが継続して機能するためには、適切な報酬の仕組みが必要である。全国の模範となるべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	5)健康づくりと介護予防	柔道接骨師会の介護予防事業の拡大	柔道接骨師会の日常の診療での経験を生かし一般高齢者だけではなく、特定高齢者を主とする介護予防事業を担うべき。現在柔道接骨師会が行っている介護予防事業を発展させるべく、センター方式・サテライト方式訪問方式などへの変化もしくは事業の拡大、普及などを行うべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	5)健康づくりと介護予防	高齢者や障害者への自立支援	高齢者であれ、障害者であれ、介護を利用せず、自立して生活したいのが本来である。行政は出来るだけ介護制度を活用するのではなく、自立するための支援を第一に対応すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	5)健康づくりと介護予防	健康維持促進プログラムの充実	高齢者の健康づくりを進めるため、現在、実施されている各種健康維持促進プログラムの充実については書き込むべき。高齢者が日常的に使用することができる健康維持促進施設は長期的な支援から0123同様、3駅圏域に配置すべき。その場合、桜堤児童館にプールを含む高齢者健康維持施設を併設すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	5)健康づくりと介護予防	今後の介護予防事業	介護保険の今後の財政見通しに触れるべき。また、介護予防事業は市の直営事業をやめ、民間スポーツ施設への利用補助を検討できないか。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	5)健康づくりと介護要望 6)こころの健康づくり	心身健全の重要性	これからの社会では、常に心身健全であるよう励み心がけていくことが大切である。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	7)認知症高齢者施策の推進	認知症予防	認知症対策は、介護、ケアのほかに重点的に施策が行われて、一番大事な認知症になる前の予防対策がほとんど行われていない。こういった方々の健康を守るために、ぜひ認知症予防活動に力を入れてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	7)認知症高齢者施策の推進	認知症の早期診断・治療及び予防	認知症の早期診断・治療体制への取り組み強化及び認知症予防活動の実施について追記してほしい。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	8)こころのバリアフリーの推進	障害者と接する教育	教育・福祉と分断するのではなく、連携して、障害児者が地域で暮らす実感が持てるように、教育を充実してほしい。保育事業、生涯教育等企画・支援事業には、障害児者の存在を念頭に置き、すべての市民を対象にしたものにしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	8)こころのバリアフリーの推進	世の中の速さについての課題認識	例えば社会のペースが速過ぎるということにみんな気づき始めた。皆が課題を共有するという意味では、そこに希望があると僕はとらえている。社会的に弱い弱者の人たちと同じ目線でこれからはやっていると入り口、ようやく立つのだと思っている。どのように世の中の課題を共有していくか、策定委員の意見を伺う。	市議会全員協議会
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者の活動支援	高齢者の活動支援問題について、具体的にどういった形で社会貢献するのかわかる(横の連携を含めて)システムづくりが大事ではないか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者の活動支援	高齢者が活動できるようにするのに大事なのは、就業したい、ボランティアに行きたいと思っている人を、その気になっているときに吸い上げて養成すること。そういう機会をつくってほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	定年を迎えた人の受け入れ場所	定年を迎えた人達の受入場所として①コメセン、②社協・福祉の会など教育をしておせんずるようことを前向きに考えてほしい。	圏域別(吉祥寺地区)意見シート
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者の地域でのつながりの支援	高齢の男性を地域に引っ張り出す取り組みについて、実施する際に課題となるのは、場所や資金などが考えられるので、場所の提供や資金助成など、行政の援助があると助かる。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者の就労支援	「地域活動、社会貢献及び余暇活動を促進する」こと以上に、就労することの方が重要ではないか。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者の就労支援	シルバー人材センターだけではなく、さまざまな形で高齢者の就労支援をしてほしい。なかなか就労支援と言っても、さまざまな法律の障害があって、仕事がしにくいという現状がある。そういった点をぜひ研究してほしい。	市議会全員協議会
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者・障害者の活動への行政の支援	高齢者・障害者の地域活動、社会貢献、余暇活動の促進は、行政がやるべきことなのか。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	シルバー人材センターの役割	Ⅶ分野別の課題 1健康福祉 (9)高齢者障害者の活動支援の項には、「就労機会の拡大にも取り組む」とされているが、その担い手としてシルバー人材センターが大きな役割を果たしてきたことを記載してほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	シルバー人材センターの役割	高齢者・障害者の「就労機会の拡大にも取り組む」という表現があるが、その担い手としてシルバー人材センターが大きな役割を果たしている旨の記事をお願いします。独居老人に対して声をかけるなどの対応を考えていきたい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	高齢者センターについて	高齢者が多くなり、社会文化活動のグループとデイケアサービスとで高齢者センターが狭隘になっている。これを早く解決して欲しい。また、新しくつくるために、代替の場所を具体的に、早く財政の裏づけをしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	発達障害児の就労支援	教育と福祉にまたがるが、発達障害のお子さんが増え、特別支援学校で1学年60人以上もの生徒を抱える状況で、これから先、働く場所がどうなるかという保護者の不安がとも強くなっている。これからさらに知的障害の人の働く場所、就労支援の場所の確保も切実な課題になっているので、対策をお願いします。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	障害児の放課後対策	他市に比べ、小学校6年で障害児の学童保育は終わり、保護者は留守番のできる子どもを育てるといっている。働く母親をしっかり支援することも大事なので、他市のように小中高まで学童保育あるいは児童デイで預かる形でも何か働く女性を支援していけないか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	要約筆記者の養成	手話通訳者と同様に要約筆記者の養成をしてほしい。	関係団体意見シート

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	障害者施策	<p>○街作り</p> <p>①音響信号機を従来の押しボタン方式から視覚障害者一人一人にICチップを渡し、そこから発信された電波にのみ信号機が反応するような装置に変えて欲しい。そして、信号機は24時間働けるようにしてほしい。</p> <p>②ムーバスを始め、武蔵野市を走る全てのバスをノンステップ、または段差の解消に努力してほしい。</p> <p>③段差の大きい道路の解消に努めてほしい。</p> <p>④点字ブロックの上に自転車、植木鉢、店の営業品などをおかないように指導してほしい。</p> <p>○コミュニケーション事業</p> <p>①視覚障害者の世帯で希望者は郵便物などの代読、または公共書類の代筆が出来る人を派遣してほしい。</p> <p>②①の人は市で雇われている場合(正規、非正規は問わない)、守秘義務は守ること。</p> <p>③①の人はヘルパーがやらない利用者の個人情報に触れる事、たとえば、賃貸住宅の契約書、クレジットの契約、生命保険の契約書の代筆も行うこと。</p> <p>○市役所から来る物</p> <p>視覚障害者だけの世帯に送られる選挙の入場券に就いてその個人が特定出来るようにしてほしい。</p> <p>○日常生活用具</p> <p>①音声読み上げ装置(よむべい)に就いて弱視の拡大読書機と併用しないでほしい。</p> <p>②点字ディスプレイ、ブレイルメモポケットを単一視覚障害者にも支給してほしい。</p> <p>③地デジに伴い視覚障害者でも見られる音声装置付きのテレビを日常生活用具として認定してほしい。</p> <p>④音声パソコンソフト購入に対する補助をしてほしい。</p> <p>○健康と福祉</p> <p>市で行っているウォーキングなどに参加出来るように健康作り支援センターと一緒に歩いてくれる人を派遣してほしい。メタボ予防の為に努力している視覚障害者に手を差し伸べてほしい。</p> <p>② だんだん活カアップ体操、ラジオ体操第2などの指導員を派遣してほしい。</p>	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	視覚障害者の支援	<p>視覚障害者の家族の場合、公共書類などが郵便物で来て読めないのが、その代筆、代読をお願いしたい。</p> <p>パソコン、地デジ対応テレビも日常生活用具にしてほしい。健康づくりでは、体操を教える人やウォーキングをする際の介助者を出してほしい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	9)高齢者・障害者の活動支援	視覚障害者の支援	<p>○公共書類の代筆が可能な人の派遣</p> <p>○守秘事務の遵守や契約書の代筆</p> <p>○日常生活用具の改善(音声装置付きの地デジを日常生活用具とする 等)</p> <p>○音声パソコンソフト購入への補助</p> <p>○健康づくり支援センターからのウォーキング補助者の派遣</p> <p>○体操指導員の派遣</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	グループホームへの支援	<p>知的障害の若い保護者には、入所施設ではなく地域で暮らしたい、そのためにグループホームで自立をとういう方が大変多くなる。法人として職員の育成をしているが、民間の物件を当てる時間がないので、市のほうで協力をお願いしたい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	グループホーム、ケアホームの設置	<p>グループホーム、ケアホームの設置を進めて欲しい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	重度知的障害者のケアホームの設置	<p>一日も早く夜勤体制の完備した重度知的障害者対象のケアホームの市内設置をすべき。また、これを福祉計画の中に数値目標として入れるべき。市の土地の無料貸出等検討すべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	体験型のケアホームの設置	<p>重度知的障害者は場所慣れ、人慣れに時間がかかる。重度の人ほど、体験型が必要である。体験型ケアホームを設置すべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	福祉作業所の整備	<p>精神福祉なので作業所が少ない。全体としてとにかく質的にどうなのかというところを明確にほしい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	居場所づくり	<p>テニミリアンハウスのようなたまり場が高齢者だけではなく、障害者、子ども、子育て中のお母さん等にも必要だということを書き込んでほしい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	高齢者支援の充実	<p>年金でも入れる特養ホームの増設や、市独自の在宅介護支援の充実。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	特別養護施設・老人保健施設への言及	<p>特別養護施設、老人保健施設などに触れないのか。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	くぬぎ園の建替え	<p>建て替えを決めた上で、特に高齢者施策との整合性を考慮し活用方法を検討すべき。福祉総合計画との整合性を図るべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	1健康・福祉	10)サービス基盤の整備	公営住宅の転用	<p>都営や市営の集合住宅を一つのホーム、老人施設として考え、日常的なグループ支援を考えられないか。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		外国にルーツを持つ子どもの支援	<p>外国にルーツを持つ子どもたちの実態把握と、その子どもたちへの支援という項目を入れてほしい。</p> <p>民間団体の活力を生かしてほしい。また、学校の壁が厚く、学校の中の子どもたちのニーズの把握に疑問もあるため、学校の先生方とも連携していきたい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		子どもがサッカーをできる場所の確保	<p>子どもたちがサッカーできる場所を、これからもずっと確保していただきたい。パブリックな施設を確保していただきたい。第三小学校の緑化は2メートル幅で芝生を張っているが、非常に使いにくい。実態を把握して行ってほしい。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		中学校給食	<p>中学校の学校給食の試食会をするなど、親も子どもが実際にどんなものを食べているのかを教えてください。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		給食・食育への言及	<p>給食・食育に関する記述がない。給食・食育財団についての情報提供が少ない</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		第三次子どもプランの推進	<p>第三次子どもプランを尊重し、各計画年度中は優先化・重点化しつつ遂行することを明確に記載すべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		第三次子どもプランの推進	<p>第三次子どもプラン武蔵野に基づいた施策の実施を、特筆して長期計画に記載すべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		第三次子どもプランの推進	<p>市民参加の「第三次子どもプラン武蔵野」で確認された武蔵野の保育の質を維持、向上に向けてを長期計画でのなかで反映すべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		第四次子どもプラン	<p>第四次子どもプランのことが一切触れられていない。第三次の先はどうなっていくのか気になる。</p>	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		第四次子どもプラン	<p>子どもプランは平成26年度に終了する。ゆえに、第四次子どもプランの策定を明記するとともに、市民参画と各関係団体の参画を明記すべき。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育		中、高、大学生についての未記載	<p>「2子ども・教育」分野において、中・高・大学生についての記述がない。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	1)子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	仕組みの構築に向けたステップの記載	<p>具体性がなく、何も書いていない。「仕組みの構築」とあるが、仕組み構築に向けたステップを記載したほうがいい。また、市民との対話にあたっては、関わりたい施設ベースでボランティアを募り、地域で何が出来るか議論した方がいいのでは。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	1)子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	子育て情報の発信	<p>武蔵野市による子育てHPや、子育て世代が情報交流したりできる広場(ネット掲示板)を、子ども協会管轄で作ってはどうか。市報しかないのはもったいない。</p>	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	1)子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	子育てしやすい環境作りのための働きかけ	<p>子育てしやすい環境を作るために企業・国への働きかけを明記すべき。</p>	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	1)子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	具体的な記述ととも協会についての言及	理念的なことではなく、着実に実行できることを記載すべき。また、子ども協会は、今後10年間で急速に大きな組織になることが見込まれている。そのことに触れるべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	1)子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	家庭内にいる母親の支援について	仕事をしていないが多胎児や年の近い子どもを抱える母親の支援も、ぜひお願いしたい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	1)子どもの育ちと子育て家庭を地域社会全体で支援する取組み	家庭での子育ての重視	第四期長期計画・調整計画で記載のあった、「親子の触れ合い、子育ての啓発」の記載がない。現在、家庭教育における子育て関連の視点は、動いている。地域・社会で子育てするという動きも、大事であるが、原点は家庭にある。それぞれの家庭で自立した子育てができることを社会が応援するべきである。その視点は絶対に含めてほしい。	市議会全員協議会
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	児童館のあり方	児童館、(西部図書館)の利用者は多い。実態を知って、廃止はやめてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	桜堤児童館の0123施設化	13ページに桜堤児童館の機能・役割の分散し将来的に0123施設化を図るとあるが、3歳までで子育てが終わるわけではないので、児童館は残してほしい。 子育て支援施設の再編について市からの説明が少ない。もっと現場の利用者の声を聞くようにしてほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	桜堤児童館の0123施設化	15歳までの幅広い年齢層が利用できる児童館を3歳までしか利用できない0123に替えるという意見が出ていることが理解できない。0123になった場合、4〜6歳の利用できる施設は確保されるのか。	圏域別(境地区)発言
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	桜堤児童館の0123施設化	児童館は兄弟、家族で利用できるが、0123化の後、そういった施設は作ってもらえるのか。	圏域別(境地区)発言
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	桜堤児童館の0123施設化	0123はよく機能しているが、0〜2歳と3歳は共存が難しい。児童館をなぜやるのか。その機能を、どこで、どう担っていくのか。「子育て支援」として、18歳まで大きく許容する児童館が0123化されることには、非常に抵抗感がある。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	桜堤児童館の0123施設化	西部地区への0123施設設置は必要であるが、西部地区における配置として桜堤児童館の場所が適切か疑問がある。慎重に検討する必要がある。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	桜堤児童館の0123施設化	0123施設化について利用者への周知が不徹底。児童館の全市的な役割を明確にしたうえで全的に児童館機能をどのように展開するかを検討すべき。桜堤保育園の分園としての活用が緊急課題である。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	児童館の0123施設化	武蔵野市子ども協会で児童館機能を持って欲しい。児童館機能を大幅に削って0123化は不合理である。児童館の最後の砦として、児童館機能を残すべき。子どもたちの「地域での居場所」を残すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用 子育て支援の対象年齢	13ページの旧泉幼稚園跡地について、吉祥寺西コミセンとの役割分担となっているが、吉祥寺西コミセンが代表となっているのか、中央、御殿山コミセンから結構との話があったのか、説明してほしい。 子育て支援は3歳までではなく、18歳までだと考えるが、それについても説明してほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	旧泉幼稚園跡地について、幼稚園とコミセンとは別の施設であり、いっしょに考えてほしくない。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	「討議要綱」13ページ、子育て支援施設の再編の中の吉祥寺西コミセンに関する記述を削除してほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	旧泉幼稚園跡地について「吉祥寺西コミセンとの役割分担を踏まえて」の文言は不要。コミセンは地域一般の利用を対象とした拠点であるので、跡地の利用とは別に考えるべきである。 西コミセンにあった「井之頭こどもクラブ」の跡地の利用についてはコミセンの協議会の意見で予算化すべき。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	旧泉幼稚園跡地の利用施設とコミュニティセンターはまったく別物。コミセンには自主三原則があるのだから、切り離して考えてほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	旧泉幼稚園跡地利用に関する討議要綱の記述は、今まで地域で意見交換をし合意形成を行ってきたいくつかの内容が欠如している。今までの経緯を反映させた記述にしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	泉幼稚園の跡地利用については地域住民の参画の下に決めることになっているので、長期計画には載せないでほしい。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	「子どもプラン」には「青少年」という文言が載っていたが、討議要綱ではそれが消えてしまっていて、子育て支援施設と公園で利用すると出ている。今まで積み上げてきたことをゼロにして、改めて市民と話し合うということか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	泉幼稚園跡地の問題と西コミセンの学童の後の利用が、解決できていない。それぞれ個別に考えるべきだ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	第三次子どもプラン武蔵野の表現に戻すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	現地には、保育園設置の考えがあったが、周辺住民から受け入れに賛意が得られずに現状となっている。まず周辺住民との協議を開始することが先決ではないか。活用法について検討を始める、と記載すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	子どもプランの内容より後退している。0〜18歳までを対象とした、居場所としての性格が記載漏れである。そのような施設が必要であることを認識するべき。泉跡地を保育サービス拠点とする、特定の利用者に偏り、他の年代が使用しづらくなる。青少年協会は機能が減退しており、カバーする組織が必要。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	泉跡地に関する記述は、いくつか言葉が不足している。これまでの経緯を踏まえ、「青少年(若者)」や「高齢者」、および「樹木を活かす」「泉文庫」についての記述を追記すべき。あるいは、第三次子どもプランに明記しることが有効であることを示すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	青少年の意欲を育てるために、もっと青少年が自主的に活動できる場所が必要であり、その拠点の1つとして泉幼稚園跡地を利用するべきだ。	関係団体意見シート
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	桜堤児童館や泉幼稚園について、市民の関心が高い。慎重に対応し、地元市民との合意形成を図るべき。	市議会全員協議会
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	旧泉幼稚園跡地の利用	泉幼稚園跡地について、第三次子どもプラン武蔵野で「乳幼児とその親、若者や高齢者などの交流ができる広場を持つ子育て支援施設」との方向性がでた。問題は、「今後の公共施設配置のあり方について」において泉幼稚園跡地が「保育サービス機能を有する民間の子育て支援施設及び公園として活用する」と討議要綱に記載されていること。市の行政サイドの意見が記載されている。市民の運動の結果をいかにするかの。	市議会全員協議会
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	子育て施設の位置づけ	武蔵野市は近隣と比べ子育て支援が弱い。目標は、前時代的な箱物建設でなく、市民と市民のつながりの中で生まれる地域活性化であるべきだ。0123について書くのであれば、「地域との関わり」を旨し等入れたほうがいい。トップダウン式の行政視点ではなく、地域全体の観点でソフト=市民レベルでの人のつながりを生むようなインフラ面の整備について記載すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	市の説明会等の対応	児童館の0123化についての説明会の開催までの市の対応が悪かった。また、説明会での市職員は議事録やメモを取る様子がなく、意見に耳を傾ける姿勢が見られなかった。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	施設再編についての周知	施設の再編については、どう再編するかだけでなく、それをどう市民に伝えていかも記述すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	施設職員の子育て支援の仕組み作り	子育て支援施設の再編については、施設の活用方法だけではなく、子育て施設に関する職員が、より積極的に子育て支援に関れるような仕組みや位置づけを記載すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	利用者向け説明会の実施	利用者向けの説明会を開催すべき。どう説明したかではなく、どう伝わったかが問われる。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	政策の進め方の改善	現地の利用者の意見をもっと聞いて欲しい。ステークホルダーへの事前の通知を徹底すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	保育園の整備	保育園の整備を町ごとに進めるべき。今後、保育園は学区ごとに二つの保育園を整備すべき。老朽化の保育園施設の建て替えにあつては、一時保育や病児保育の実施を前提に検討を進め、子どもたちにとってどのような施設が良いのか、職員の意見を尊重して進めると明記すべき。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	中高生の居場所づくり	中高生の居場所を武蔵野プレイスだけではなく各地に散在させるべき。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	2)子育て支援施設の再編	0歳から18歳までの子育て総合センターの設置	0歳から18歳までの子育て総合センター的なものが必要である。幼稚園、保育園、小学校、全部連携していく。そういう視点も記載するべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	保育園から幼稚園入園への政策誘導	公立であれ私立であれ、保育園を際限なく増やすことは、財政上限界がある。保育園に待機しないで済む方を優先的に検討し、公立(および財団立)保育園でなく幼稚園へと子供を向けさせる政策誘導を強力に行うことが必要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育園増設	待機児童解消のため、認可保育園増設を目標値として掲げるべき。認可外保育園の保育料補助を引き上げすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育所の整備	保育園は「養護」と「教育」を行っており、子どもの視点では、就労形態によるのではなく、保育園の8時30分～16時30分の平常保育はどの子にも保障されている。認証保育所の整備という文言は削除し、認可保育所の整備の検討を進めると、改めるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育園、認証保育園の整備見込みの記述	認可保育園、認証保育園の整備を検討するところだが、市として、どのくらい不足を見込み、どの程度まで整備するのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育所の設立及び整備の推進	保育園入園待機児童解消に向けた取組みとして、早急な認可保育所の設立及び整備の推進を記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育園の増設	保育者の配置や質、保育環境の維持向上のうえで認可保育園の増設が必要である。短期的対応では子どもへの安心して健全な保育が守られるのか、また、職員への負担が保育に影響を及ぼすのではないかと危惧している。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育所の整備と学童クラブ定員の増加	認可保育所・認証保育所の整備を検討する記載を歓迎。「認可保育所の新規のみならず、既存施設の保育所転用等も視野に入れ積極的な整備するとともに、認証保育所の整備もあわせて検討する。」という記載が必要。また、学童クラブの利用児童の増加も見込まれる。入所枠の拡大をする必要がある。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	認可保育所についての考え	認可保育所は作るべきと考えているが、これについてはどうお考えか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	待機児童対策の促進	一刻も早く安心して子供を預けられる施設、認可保育園の整備を行うことは喫緊の課題である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	保育・育児支援	多様な暮らし方や働き方に呼応していける保育サポートならびに育児支援情報の提供をすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	3)保育園入園待機児童解消に向けた取組み	私立幼稚園の位置づけ	市における幼児教育の実績は市民の該当児の6～7割が私立幼稚園によって担われてきた。市の関与のあり方は、「境子ども園(仮称)」の取組みを踏まえることなく、実績ある私立幼稚園での検討を踏まえるべき。公益に資する教育機関として実績を踏まえるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の役割	国の制度の動向にとられることなく、公立保育園がさらに武蔵野の保育を発展、継承していくために公立保育園の役割と存続を明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の役割の明記	公立保育園＝自治体の役割、武蔵野市として保育園運営に関して直接責任をもち、すべての児童を視野に入れ地域の保育・子育てネットワークの中核になることを明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の役割の明確化	国の制度改正にとられることなく、市が直接保育に関することの重要性を踏まえ、公立保育園の果たす役割をより、明確にすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の目的の明確化	人件費削減ありきという印象で、待機児童解消という目的が伝わりにくい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園存続の意義	公立保育園について、平成22年5月の新武蔵野方式の基本方針で示された公立保育園を残す意義をご承知か。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園のあり方	公立保育園で残る4園も、なくすことを考えているのか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園のあり方	今後は公立保育園が担うべき具体的な方策の検討がなされるべき次期であって、その検討がすまないうちに再びコスト論を持ち出すかのような記載はふさわしくない。公立保育園を最大限に活かすことが重要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	保育園のあり方	保育園の役割、あり方については、基本的に公立で存続してほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の完全民営化	「移管した5園の運営状況を検証した上で、残る公立保育園についてもその役割あり方について検討する必要がある。」についてはその通りであり、完全民営化(社会福祉法人等への移管)を前提に検討すべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の完全民営化の中止	平成25年度までに実施予定のさらなる3園の民営化は中止すべき。2園の検証を行うべきであり、9園全園の子ども協会への移管を示唆する表現は削除すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	保育園の運営主体のあり方	第三次子どもプランを実行し検証を行ったうえで、あり方について検討する、もしくは削除すべきと記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	公立保育園の運営主体	公立保育園の運営主体についてどう考えているか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	子ども協会のあり方	保育園の財団への移管が2園決まっているが、財団が第2市役所とならないようにすべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	国の制度改正に伴う対応	自治体の財政を圧迫するような国の政策にはきちんと意見を上げるべき。仮に国が制度「改正」を行っても、今のむさしのの保育水準を維持していくために、武蔵野市の認可保育園については財政的援助をすることを明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	2子ども・教育	4)公立保育園の役割、あり方の検討	保育施策の重視のあり方	保育園を利用される割合が増えると、現実子育てをしている者が少なくなってくる。そうすると、地域におけるコミュニケーションをとる人がすべて高齢者になってしまう。武蔵野市は全てが保育園だけの施策でいいのか。その辺をしっかりと見据えた上で、子ども・教育の視点を考えてほしい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	5)幼児教育への市の関与のあり方の検討	幼稚園に対する保護者負担の軽減	私立幼稚園就園奨励費の保護者負担分について、22年度と同様に都補助分(3分の2)の残り(3分の1)を市で補填してほしい。	関係団体意見シート

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	5) 幼児教育への市の関与のあり方の検討	幼稚園に対する保護者負担の軽減	幼稚園に対する保護者負担の軽減の検討。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	5) 幼児教育への市の関与のあり方の検討	保育園と幼稚園の教育	保育園と幼稚園の教育は学校教育とは違うこと、幼児が健やかに成長するために充実した「子ども時代」を通せる環境を整えることを明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	放課後の居場所について	子どもたちの放課後の居場所として、まず既存施設である小中学校に夜間照明をつけるなどして、活用してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	家庭ヘナイター設備の設置	家庭にナイター設備ができること、地域の人が子どもたちにいろんなことを教えるための場所、時間的な場所として、活用に大きなメリットがある。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	家庭ヘナイター設備の設置	地域の小・中学校に一つ、ナイター設置をしてほしい。子供たちが野球やサッカーが思いっきりできるように安全な学校を有効に活用してほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	放課後施策の充実	放課後施策の充実について、「第三次子どもプラン武蔵野」は非常にできていたので、それを踏襲して実施してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	あそべえの充実	地域でいろんな特技や情報を持った方の協力を得られるようなネットワークづくりを充実していただきたい。あそべえは学校図書室の開放も担っているため、専任司書の整備を進めてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	学童とあそべえの連携及び運営主体の一体化	小学校の放課後施策について、一体化の議論は、あそべえの実態を把握してからにしてほしい。千川地区をどのように一体化するのか疑問を持つ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	あそべえと学童クラブの運営主体の一体化	第三次子どもプラン武蔵野の表現に戻すべき。「一体化の研究」に戻すべき。学童保育の土曜開所や学童保育の時間延長を記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	学童クラブと地域子ども館の役割の明確化	学童クラブと地域子ども館事業の果たす役割を明確化し、双方の更なる発展と連携の必要性を記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	学童保育の必要性	地域子ども館は遊び場の保障であり、学童保育は言葉通り「養護」と「教育」の場である。運営主体が一体になったとしても、子どもが帰る事ができる安定した居場所をしっかりと保障していくことは必要である。違いをしっかりと明記し、学童保育の子どもたちが安定した環境のなかで育つ事ができるようにすることを明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	学童クラブの土曜開所	すでに「小学生の放課後施策推進協議会」で検討されている。学童クラブの土曜開所については、一定の見解を記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	情報の提供	地域や市民団体に、情報をしっかりと伝えるという項目をどこかに入れてほしい。行政の縦割りのためか、情報が伝わらなかつたり、伝わるのが遅い場合がある。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	6) 小学校の放課後施策の充実	ボランティア活動の活用	スポーツを教える先生が足りないということだが、地域には社会人スポーツ団体がたくさんある。そこに社会貢献として手伝ってもらうように行政側からアプローチしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	楽器購入の予算化	楽器の老朽化が進んでいる。学校に楽器の予算をつけてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	少人数学級	公立小中学校の30人学級を明文化してほしい。市は具体的な数値目標を出してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	特色ある教育活動	特色ある教育活動について体験学習や音楽教育と限定している理由は何か。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	個性ある学校教育の推進	公立中学に行かせたくなる施策がこれから必要になってくるのではないかと考える。個性のある学校教育ができる学校づくりをすべきと考える。考えを伺う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	表現及び学力の記載	「望ましい社会のあり方について声高に語られることがなくなった現代」という表現は唐突な感じがする。親子の大きな関心事である「学力」をどう磨いていくのかを書くべきでは。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	子育て社会の見直しの必要性	様々な視点からの子育て社会の見直しが必要。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	7) 知性・感性を磨き未来を切り拓く教育の実践	子どもに感動を与える事業の実施	さまざまな人脈等により、子どもに感動を与える事業を行うべきである。また、武蔵野市の歴史を学ぶべきである。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	8) 地域に開かれた学校づくり	地域に開かれた学校づくり	地域に開かれた学校づくりに関し、構成メンバー、行政の担当窓口等の具体性に乏しいので、何らかの形で明らかにしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	8) 地域に開かれた学校づくり	安易な横文字表現	“スクールコミュニティ”等、安易な横文字表現は不適切。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	8) 地域に開かれた学校づくり	独自のスクールコミュニティの内容が不透明	ことさら独自のスクールコミュニティの仕組みを研究するとの中身が不透明。まず、現状の協議会の存在・機能に対する評価が必要。協議会の会議の場に留まらず、より広く先生方とのコミュニケーション機会を持つ仕掛けを希望する。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	8) 地域に開かれた学校づくり	学校施設開放の時間	学校の施設開放に際して、社会教育を目的とする団体に対しては、部活等の邪魔にならない時間から、施設を開放すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	8) 地域に開かれた学校づくり	学校施設開放の貸し出しの優先順位	学校の施設開放に際しては、サークル等より、社会教育を目的とする団体を優先して貸し出すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	少子化を踏まえた子ども・教育施策	少子化を踏まえた対策というのは、本当に近未来的にしっかりと対応しなければいけない内容だと思うので、もう少しその辺について書き込んでほしい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	公立学校のあり方	公立学校は地域の拠点でもあるので、統合化については再考したほうがいい。40人学級ではなかなか目が届かないので少人数学級を進めてほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	公立学校のあり方	武蔵野市としての、公立学校のあり方が見えにくい。(少子化による単学級を教育のマイナス面として捉え統合するのか、単学級でありながらも、よりいい教育のあり方を考えていくのか。)市民は選べる教育をかなり求めている。武蔵野市独自の教育をきちんとやっ上で、私学に行きたい方がいても無理に公立に進学するようにするものでもない。その辺の議論があったのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	30人以下の少人数学級の検討	30人以下の少人数学級の検討。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	「学校づくり協議会」の活用・関わりの検討	進路の選択は親の価値観と公立中学校のレベルの相関関係によるところである。目標を持ってレベルアップに取り組むべきであり、そのために、「学校づくり協議会」の活用・関わりの検討の価値があるのでは。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	学力の向上の重要性	私立への競合意識よりも、過度の平等主義に偏重せずに、「学力の向上」の本質に精進すべき。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	9) 少子化を踏まえた公立学校のあり方の検討	市立中学に進学する原因	8) 地域に開かれた学校づくりと重なる部分があるのではないかと。少なからぬ子どもが私立中学に進学する原因をどう考えるか明示すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	10) 特別支援教育・教育相談の充実	「いじめ」「不登校」への取組み	「いじめ」「不登校」は教育支援センターの取組みだけで解決できるのか、学校全体で取り組むべき課題ではないか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	10) 特別支援教育・教育相談の充実	特別支援を必要とする親子への継続的支援	しょうがい児を始め、特別な支援を必要とする親子に対する、乳幼児からの継続的支援の必要性を記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	2子ども・教育	10) 特別支援教育・教育相談の充実	学校カウンセラーの充実	教育相談について、公立と私立の違いは、いじめ等いろいろな問題があり、大変なことである。カウンセラーの充実を書き込んでいただきたい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	11) 教育資源の蓄積・活用と教員育成・支援	教育センターの目的・機能の明示	「教育センター機能」では性格不透明。目的・機能の表現が望ましい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	11) 教育資源の蓄積・活用と教員育成・支援	教育センター機能の充実	教育センターには、教育委員会としてのシンクタンクの機能が求められる。機能の充実が必要。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	11) 教育資源の蓄積・活用と教員育成・支援	子育て・教育の総合的コーディネーターの配置	教育センター機能については、教師の教育力を高める必要がある。しかし、それと同時に、子どもたちに対する、特別支援教育の必要性が増している。他区市で行われている一人一人に向き合ったサポーター等のソフト面の記述がない。子育て支援であれば総合コーディネーター的な機能を学校ごとに配置する方が、センター機能よりも望ましい方向であると考えられる。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	12) 学校改築方針の策定	体育館の床の張替え	台風で浸水した際、床が平らでなくなっている。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	12) 学校改築方針の策定	垣根の樹種の植え替え	学校の垣根に茶毒蛾がおり、毎年生徒数名が被害にあう。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	12) 学校改築方針の策定	学校改築方針の周知	情報がないと実感がわかない。方針を策定するだけでなく、市民にどう伝えるかも重要。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習の支援	生涯学習の団体が非常に少なくなってきた。生涯学習の活動を行うのに策定委員の先生方のアドバイスをもう少しほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習の体制の整備 市の科学技術	年を取ってからではなく早い時期に生涯学習ができるような、もう少し強力な体制を整備してはどうか。文系ばかりでなく、新しいものを生み出す先端の科学をもう少しやってほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習の環境の整備	生涯学習を多様な市民の興味に沿って選択できる環境作りを行うべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習のあり方	市民の学習と文化について、「学び」に気づく「学び」の姿勢、体系化→「学び」を進展させていくしくみを作っていくことが大事。 プレスには、どのように学ぶか、どのように話し合いを身につけていくか、どのように進展させていくかという視点が大切。「生涯学習」の根本的なものを考えてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習施策の構築について	生涯学習施策をしっかりと構築してほしい。中心にプレスという本館的なものを持ちながら、身近なところで使える図書室、図書館というものを考えていただきたい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習施策の推進	生涯学習振興計画について触れないのか。生涯学習振興事業団の今後の役割について触れないのか。行政が大学に働きかけ、地域や市政に関心をもってもらってまちづくりを考えるべきでは。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	学習成果を生かしたまちづくり活動	武蔵野市における生涯学習の推進は、市民の学習それ自体や個人的な生きがいという側面だけでなく、学習を通したまちづくり活動の発展という側面からも行われるべきである。それによってこそ、「新しい公共」への市民の参画が可能となる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	市民自治、市民参加のための生涯学習の推進	現在の武蔵野市の「生涯学習」は武蔵野自由大学など個人の関心・教養としての学習に偏している。個人の学習権の保証は大切だが、公の学習はまちづくりにつながるもので、共同の学びの中でこそ、マネージメント・オーガナイザー・ファシリテーター・コーディネーターとしての力が培われる。行政が係わる「生涯学習」について再考し記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	市の生涯学習部門	生涯学習スポーツ課の組織をも一度考え、生涯学習部あるいはそれに準じた大きなところを設けた中で、スポーツ、狭義の生涯学習を統括するという考え方に立てないだろうか。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスの機能	武蔵野プレスは学習活動とまちづくりが絡みながら、非常に豊かな市民活動が発展する高機能の施設にしてほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスの機能	武蔵野プレスは、実際にその場で検討しながら、いっしょに考え、作って、育てていく施設となるような運営をしてほしい。有志のメンバーの自主的な活動を育てていく中間支援の機能も充実させなくてはならない。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスの利用方法	施設使用基準が硬直しないよう、柔軟な利用方法をすべき。また、使用についての説明会を開催すべきだ。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスの広報	市報と同様な広報紙を配布すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスの充実	プレスの施設は多目的と思うが、さまざまな活動ができるよう施設の充実をすべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスを利用した印刷	会として会報を発行しているが、大学の好意で学内印刷している。大量印刷の場合は、自由大学の印刷機を借り、用紙を保管してもらっている。7月からプレスに移動するとのこと、保管場所を是非設置して欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	武蔵野プレスの機能の分散化	プレスの物理的一極偏重が真に、公共サービスに値するのかが疑問である。分散機能であるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	生涯学習施設等の偏在	自由大学事務局を利用・活用してきた団体としては、市東サイドに分室的機能の設置あるいは、存続を強く希望する。公共サービスの機能と存在価値は市民が極力平等にサービスを共有できるかである。新設のプレスの位置はあまりにも西へ偏重している。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	中高生の集まる場所が欲しい	吉祥寺まで行かなくとも、試験勉強をしたり、友達と話せる場所が欲しい。武蔵野プレスは遠すぎる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	プレスを中心としたボランティア	プレスができると、吉祥寺の自由大学交流センターがなくなってしまう。 プレスを中心に、ボランティア活動の育成に力を注いでほしい。ボランティアは決して長続きするものではないことを前提とした仕組みづくりを。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	ボランティア活動の活用について	生涯学習で学んだことを、どうしたら地域社会で生かせるか。ボランティア活動に市民の意欲を結びつける市の仕組みが足りない。その仕組みの研究を大学でやってほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	ボランティア活動の活用について	5～6年前から福祉施設でバイオリンを演奏して喜んでいただいているが、要請が余りないので、こういう活動をしているボランティア団体があると、市から福祉施設に指導してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	図書館のあり方	3館整備後の図書館のあり方についてももう少し具体的な計画を示してほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	図書館への指定管理者制度の導入	プレスの指定管理者制度適用の是非をまず検討すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	図書館への指定管理者制度の導入	プレス以外の図書館への指定管理者制度導入を示唆するような表現を削除すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13) 生涯学習施策の推進	図書館の指定管理制度	図書館に指定管理制度はなじまない。プレスの中の図書館としないほうがいいと思う。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	図書館の直営化	ブレイスの図書館は指定管理者への委託ではなく、直営化すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	図書館基本計画の実現	西部図書館を市民に事前の説明も無く、ブレイス開館を理由に何故閉館するのか理解できない。これでは市民策定の「図書館基本計画」は絵空事ではないか、前市長時代の3館構想完結した現在、速やかに「基本計画」の4つの将来像を実現して貰いたい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	図書館と学校・コミセンとの提携	ブレイスが7月閉館し、図書館3館構想が終了する。その先を年次計画として、例えば学校、コミセンなどとの提携を加筆すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	西部図書館の閉館	西部図書館はぜひ委員に実態を見てほしい。「本のある豊かなライフスタイル」を推進するためにも、西部図書館を残してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	公開講座の広報について	市教育委員会に講演依頼した「公開講座」は、市報に掲載して欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	寄附講座の充実	市の寄附講座の充実に一層尽力すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	2子ども・教育	13)生涯学習施策の推進	リタイヤした人々への実務的な講座の実施	人の面倒を見ること、特に子どもに接することで、子どもと高齢者世代の交流が図れる。そのための実務的な講座を開設すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		分野の見直し	「3緑・環境・市民生活」について、「市民生活」を独立させるべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅶ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		分野の見直し	分野3を[緑・環境]と[市民生活(コミュニティ)]の二つにわけてはどうか。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		自治体の責務	自治体の責務は市民の安全・暮らし・環境・人権を確保することである。その視点からの記述が少ない。環境保全や平和事業の推進をもっと強調して記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		現役世代の就労機会の拡大	現役世代の「弱者」が増加すれば、世代間の支え合い以前の話である。仕事があり、私生活に余裕が出てくれば地域活動などに参加する人も増えるのではないかと。現役世代の就労機会を拡大することは、今後のためだけでなく、生き生きとしたまちづくりのためにも必要なことである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		ペットとの共生可能な環境整備	虐待等ペットに関わる問題がある中、ドッグランの開設等ペットとの共生可能な環境整備を長期計画に入れるべきだ。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		ペットとの共生	ペットについてもぜひ計画の中の記載するべきだ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活		食の安全の問題	食品の安全体制は流通段階を含めて把握が極めて難しい。自治体としても厳しい管理体制について言及すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	市民活動と行政組織の連携	現在は、縦割りの行政組織がそれぞれの分野について地域に組織・委嘱市民をもって活動しているが、地域力のアップには各分野の行政と市民が横断的に連携することが必要で、これを検討する市民会議が必要である。当面は、市民が、市の複数以上の課に関わる場合は、市民協働推進課が窓口になり、各課の調整を図ることが望まれる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域の担い手不足	地域の担い手不足(福祉・教育すべて)を解消する新しい仕組みを作るべき。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	コミュニティの担い手の確保	コミュニティの担い手がいないと言われていたが、人材はいるけれど情報発信の仕方が分からなかったり、受け手の側の対応がしっかりしていないため、いい人材にうまく役に立っていない。特に定年退職した方たちが地域へ出て行くために背中を押してあげる方法を考える必要がある。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	コミュニティの担い手の育成	まちづくりは、ハード面ではなく、ソフトの部分が非常に大きい。長期計画の中では、まちづくりをハードの部分に置いている印象がある。まちづくりは人づくりという視点があるともっといいのではないかと。行政にはできないことがたくさんある。部署を横断する形で担い手を育てていくことも、ビジョンとして掲げてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	小さい単位のコミュニティと市の協働	緑町懇話会では緩やかにまちの課題を解決するような運動をしてきたが、コミセンよりも小さい単位のコミュニティにもう少し市の情報や方針を届けてもらいながら、どのように市と協働していくかを一緒に考えていきたい。特に商店街によっては、自主防災組織等がないところもあるので、地域に寄り添って支援をしながら、その地域の活力を上げることを考えてほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	呼び寄せ高齢者	遠方の自宅を処分してこちらに引っ越してきて「呼び寄せの高齢者」が増えており、こうした人の期待に応えてどのようにコミュニティを作っていくかが課題になっている。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	計画の評価・コミュニティの検討への市民の参加	計画の評価を行政だけでなく、市民も参加して話し合い、検討する必要がある。また、「目指すべき地域社会像に関する議論を広く行い、共有する」とあるが、行政が参加しないと議論が十分に深まらないため、計画が作られた後にコミュニティについて話し合う場を作る場合には、必ず市民と行政が同じテーブルを囲んで検討するようにしてほしい。「コミュニティの記述が総論論になっているが、個別のニーズや求められているものに対応できるような形でコミュニティのことを検討してほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティのあり方	P15に、「このことを受けて、市民によるコミュニティづくりの拠点としてのコミュニティセンターの機能について検討する必要がある」と書いてあるが、今の時点でそれは一体どういうことになっているのか。地域コミュニティの検討をするときには、コミュニティ協議会を抜きにしては考えられないので、コミュニティ協議会も参画させてもらえるようなものを盛り込んでほしい。「地域コミュニティ活動は地域の課題解決を期待されているも、その全てを担うことは難しい状況にある。今後の地域コミュニティ及び地域コミュニティ活動のあり方について検討する」とあるが、コミュニティ研究連絡会でも模索しているところであり、どのように課題に取り組みればいいのか、もう少し盛り込んでほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティのあり方	少ない人数でも何かしら活動できるはずなので、行政もその方法をガイダンスしたらいいのではないかと。何より自分が活動して楽しいというところを市民にわかしてもらい、自分の地域で必要かを考えたような場所づくり、討議し合える関係づくりに時間を割いてほしい。若いお母さんを育てることが、次の地域、次の市を育てることにつながるのではないかと。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ今後10年間の市政運営における4つの基本課題Ⅶ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティのあり方	分野3を[緑・環境]と[市民生活(コミュニティ)]の二つにわけてはどうか。地域コミュニティのあり方(p8)、地域コミュニティの活性化(p14)について、テーマに独立した意見交換の場をつくってほしい。「地域コミュニティのあり方」(p8)、「コミュニティセンターの機能について」(p15)については当事者を抜きにした検討は意味がない。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	コミュニティ活動のあり方	コミュニティとコミュニティセンターが混同されて議論されることを危惧。コミュニティセンターのあり方を検討するとともに新たなコミュニティのあり方についても検討するべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの活性化	重要な課題であるが、否定的な論調である。一方、テーマ別コミュニティは非常に活性化している。それらの地域コミュニティへの取り組み等、もう少し前向きに考えるべき。トライ・アンド・エラーでもPDCAサイクルでもいいが仕組みを入れない限りいろいろやってみるということを記述すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの活性化の内容について、この30年近くの積み上げてきたことからの発展的課題と思えない。地域コミュニティをもっと育てていく活動をめざしてほしい。市民によるコミュニティづくりの拠点としてのコミセンの機能について検討する必要があるというところが具体的にイメージできない。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの活性化	コミュニティにこだわらなくて、協同組合であったり、いろいろな主体的な組織が流動的にかかわり合っでネットワークし合うことで、コミュニティが生き生きとしたものになっていくと思う。コミュニティ論のときにソーシャルデザインとしてのアソシエーションみたいなことも考えに入れてほしい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの活性化	コミュニティについて、何をするのか見えないので、十分に議論してほしい。それに対応した体制を庁内にもつくるよう提言すべきである。例えば駅周辺などに担当をつくり、その地域の事柄を地域の住民たちと話し合い、考えを共有する。あるいは地域へ提言するような、まちづくりをしてはどうか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1)地域コミュニティの活性化	ボランティア活動と地域活動の連携強化	子育て世代の女性たちは、社会参加を求めている。市内でのボランティア活動と同時に、コミュニティの中に取り込んでいく窓口をつくるような施策を、記載すべきだ。ボランティアの循環が進められるようにすべきだ。自助や共助という視点が、討議要綱にあまり書かれていない。教育の中にもその視点を記載すべきだ。	市議会全員協議会

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	地域コミュニティの疲弊	地域コミュニティに関して、重層的な活動をといわれるが、もはや各団体にはそんな体力はなく、重層的な活動をするために各団体をかけ持ちしている人たちの疲弊が非常に厳しい。市が何か大きな仕掛けをしないと、もうこれ以上はもたない。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	地域コミュニティ形成に向けた方向性	今後の地域コミュニティ形成に向けた展望も意欲も全く感じさせない、あまりに期待はずれの記述である。問題は現在の地域コミュニティのあり方が、テーマコミュニティの人々を効果的に取り込む仕組みを持っていない点にある。人や社会とのつながりを求めている人達を効果的に地域コミュニティに結び付けていくための手法を、試行錯誤を繰り返しつつ進めることが重要であり、前向きな意欲を記述すべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミュニティのあり方	全市網羅的な町内会のない時期が約40年経過しているため、真のコミュニティを作り上げるには血のにじむような努力が必要。社会状況からも、コミュニティ問題は複雑さを増し、しかも重要な課題になっている。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化 4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	生物多様性の高い都市づくり 市民団体のネットワーク	境地区は生物多様性の高い都市づくりのモデル地区としてしてほしい。 境の地域はさまざまな機関、団体があるので、市民が意欲を持ってつながり、ネットワークを組みながらまちづくりを進めていける特徴のある仕組みを作ってほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミュニティ協議会の役割	コミュニティ協議会は、地域の課題解決を請け負うのではなく、むしろ、場の提供、人をつなぐ、情報の提供などを通じて、課題解決には欠かせない「地域の力」を育むことが本務である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセン活動の見直し	コミセン活動は地域のコミュニティづくりの中では非常に大事な役割を持っている。自主を尊重しながら、福祉でまちづくりの視点でコミュニティセンターも自分たちの活動を見直していくということも必要。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンの活性化	コミセンによって課題も異なるので、その個性をまず確認して、各コミセンにあったサポートをできるような取り組みを組み立てていくための文言を計画の中に入れるといい。コミュニティ評価委員をもう少しパワーアップして、個性をきちんと確認した上で、どういったサポートがそのコミセンには必要なのかということを整理し、市に上げる。市からは直接のサポートあるいはNPOや市民からのサポートの調整をする、といった具体的な取り組みが今後必要になってくるのではないかと。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンの活性化	コミセンを活性化させるにはきちんとコミセンに対する予算をつけたいといけな。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンの役割	コミュニティセンターの役割の基本を考えてもいい時期なのではないか。市民の手による運営なので、予算の使い方とか部屋の借り方も含めて、そろそろ、もう一段のスキルアップをするときではないか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンのあり方	コミセンは、地域福祉の核にはならないということもきちんと計画に入れて、市民協働のこれからのあり方ということをもう少し具体的に、実効性のあるやり方で盛り込んでいただきたい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンのあり方	コミュニティに力を入れない方へのフォローをしてほしい。コミセンを上手に使えるよう(ニーズに答えられるよう)にしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンのあり方	かつて、市のコミュニティ問題は、自主三原則による活動を評価し、市政アンケートの施策項目にすらなっていない。今回の討議要綱には、踏み込んだ表現が盛り込まれており、高く評価でき、期待している。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンに関する改善すべき課題	現在のコミセンは、会場提供と独自イベントについては、共通の事業として行われているが、他の社会的な課題については、運営しているリーダー構成員により差が大きい。改善すべきコミセンに関する課題を次に列挙する。 ①市民への行政の意思の伝達 ②市民に対して、義務として遵守すべき事項の伝達 ③地域の課題の情報共有 ④地域の連帯感の醸成 ⑤関連団体との協議 ⑥地域のキーマンのリストアップ ⑦コミュニティ関連の検討推進組織を企画政策室内への設置	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセン窓口の指導の徹底	コミセンの窓口は市から費用を出しており、市の職員と同様、住民の立場に立った対応が要求される。現状、貸し館が仕事程度の意識しかないコミセン窓口の対応がある。コミセン窓口は地域のコミュニティのために働く意識が必要であり、窓口担当者に対し、市の指導を徹底すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンの担い手	コミュニティ協議会において、ボランティアな参加・参画により、献身的な努力をしている、又はしてきた市民が、多少大変でも「それならできると受け止め、意気高く取り組めるような議論の展開を期待している。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセン等の担い手の確保	定年を迎えた人対象のボランティアの講座を開催し、修了した人にコミセン、福祉の会、青少年協等で活動してもらおうといった担い手確保のための積極的なバックアップ体制を市で作ってほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセン運営委員の任期	コミュニティセンター運営委員の高齢化や固定化は運営をマンネリ化させる。任期を最長10年とするよう提案する。コミュニティ研究連絡会でも議論すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンの機能・役割に対する検討	「第6期コミュニティ委員会」答申において、コミセンの機能、役割をはっきり提言している。さらに検討するのか。また、「新コミュニティ構想」についてどう考えるか。具体的な実行策をあげていただきたい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミュニティ委員会答申の活用への言及	第六期コミュニティ委員会から、昨年、答申を受けた。この答申をどう活かすか触れるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	市のコミセンへのサポート	コミセンに対して、外から方向付けをすべきではない。コミセンの自治を尊重すべき。そのために行政がどのようなサポートをできるかについて検討すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	コミセンの整備	コミセンによっては違いもある。人の集まれるところが地域にあれば、地域のことをよく把握して対応できるので、コミセンの整備をしてほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	居場所作り	コミュニティ構想は武蔵野市の根幹の施策の1つだが、コミセン過疎地域がある。個人の方で居場所づくりを続けるための支援をしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	居場所作り	今日の無縁社会はある意味自分たちが望んでできたものだから、居場所作りは自分たちで行い、市はその勇気後押しするという仕組みを作るべきだ。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	居場所作り	テンミリオンハウスよりも小規模・小地域の「居場所」「たまりば」づくりをすべき。そこからいろいろな活動が生まれてくる。多額のお金をかけないで、場所を確保するため官民が知恵を出し合うべき。そのような仕組みづくりに行政が一步を踏み出すような記述をすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	官製ボランティア	地域で各官製ボランティアがつかれると地域に不利益になり、結局住民が困る。自分で自分の首を絞めている。何とかしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	1) 地域コミュニティの活性化	高層マンション住民が地域コミュニティに参画するための施策の充実	市および各コミセンが協力し、高層マンション住民に地域コミュニティへの参画を呼びかけ、地域コミュニティでの活動できるようにする必要がある。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2) 多様な主体との協働とその公益的活動への支援	協働のネットワーク化のための環境整備について	Ⅵの3の2)は、まことにそのとおりである。「市は、環境整備等によって支援していく」という記述の中の環境整備を、策定委員会でどう問題意識で議論したのか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2) 多様な主体との協働とその公益的活動への支援	協働についての言葉の確認	4行目に「市は、環境整備等によって支援していく」と書いてあるが、この環境整備の意味。「NPO、市民活動団体」ではなく、「市民活動団体に対して」とあるのはなぜか。「市民活動団体に対して、(中略)ネットワーク形成や団体の経営やマネジメントに関する支援を行う」について、「協働」が一言も出ていない。その意味は。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2) 多様な主体との協働とその公益的活動への支援	NPO市民活動サポートセンターの整備	「市民協働サロンに加えて、本格的なNPO市民活動サポートセンター(仮称)の整備を進めるとともに、その運営などのあり方についての検討を市民参加で進める」という記述があったが、討議要綱にはこの内容がない。	関係団体市民会議(発言)

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	「市民協働サロン」の存在意義の評価と三駅圏レベル施設の位置づけ	調整計画には、NPO・市民活動サポートセンター(仮称)の整備と運営のあり方についての検討を市民参加で進めると明記されている。庁内拠点としての意義とその役割、三年半の成果の評価が必要。三鷹駅周辺及び市役所周辺の市民にとっての利便性は高い。市民活動支援施設として三駅圏施設と位置づけすべき。武蔵野プレスとの連携のあり方など、再編計画は少なくとも一年かけて検討すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	集会機能及び安価な印刷機能を有する施設の三駅圏レベルでの再構築	市民活動にとって、集会機能、安価な印刷機能は必須である。三鷹駅にも、プレス開館前にバリアフリーで利用し易い、集会機能、安価な印刷機能を持った施設を実現すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	市民の創意工夫による市有地利用の支援	市の未利用地・低利用地を市民の創意工夫で利用を望んだときに、行政はそれを支援し、使いやすくすべきだ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	寺や神社のサロンとしての開放	武蔵野市も、いいお寺や神社が環境のいい場所にある。それらの場所をサロンとして開放してほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	地域福祉の会のコミセン優先使用	福祉の会がコミセンを利用する場合、優先使用を認めるべき。コミセンにより対応が異なる。市が指導を徹底すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	プレスの市民活動フロアへの市民相談コーナーの開設	プレスの市民活動フロアは、従来の市民活動を行っている団体だけではなく、広く一般市民も参加できるフロアにすべきであるという意見が多い。そこで、市民が困っていることや悩みを相談できるよう、週1から2回ぐらい市民相談コーナーを開設してはどうか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	市民参加に市政における行政の役割	今回の計画策定に際し、改めて市民参加の市政における「行政の役割」を共に考えることをしてもよいと思う。計画で、住民の役割だけでなく、行政の役割も明確にすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	地域課題と地域連携	ボランティアグループのネットワークを広げられるような、お互いに協力を呼びかけられるシステムがあるとよい。また、ボランティアが一生涯取り組んでいることを行政が認めて、会場の提供等支援があるとよい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	地域課題と地域連携	「協働ハンドブック」という一般的な指針はあるが、協働推進へ向けた実践的な具体策がない。実践を伴った提案がないので、行政がボランティア組織を認め、市民パワーを上手く活用して欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティア団体と市民をつなぐ仕組みづくり	子育て支援の分野においては、団体主催の事業に参加者が集まらないのが大きな課題。団体の活動と市民が繋がっていないことが要因と思われる。情報を共有できる場を作って欲しい。インターネットなど若い世代がアクセスできる場を設け、行政も団体も情報掲載できる場にして欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	地域課題と地域連携	武蔵野市の子育て世代は行政のやっているものや、行政と関係の深いところには参加・利用が多い市民風土があると感じる。協働の機会を増やして欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティアグループの広報支援	行政の掲示板を、団体が使用する際には制約が多い。自由に使えるとよい。同様に市報も、掲載スペースが狭く、年間の掲載件数にも制限が設けられている。もっと活用できる媒体となるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	行政のボランティア団体のネットワーク化への支援	行政の職員は、日々ボランティア団体の参加者の顔を見たり活動内容を知ってほしい。それを行政の中で広め、行政とボランティア団体をつなぎ合わせ、協働に繋げてほしい。また、古くから活動している団体と新しい団体は繋がるのが難しいので仲を取り持してほしい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティア団体によるネットワークづくり	ボランティアセンターをはじめとしたボランティア団体のネットワークづくりにボランティア団体が主体的に関わることでボランティア団体同士のつながりを実現していきたい	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティアの世代間交流の場作り	ボランティア団体も高齢化しており、後継者である若者の参加も必須となっている。そのためにも異世代が交流できる場は重要であり、子どもの段階からのふれあいや教育も必要となる。「ふれあいの場」がまだまだ足りないと感じる。場づくりを促進していくことが重要となる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティア団体間の連携不足	ボランティア団体間の連携も不足しているため、課題解決には連携促進も不可欠である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティア団体間の連携不足	地域課題に各団体が個々に取り組んでいるが、その取り組みはつながっていない。ネットワークを作るだけでも地域課題に対する連携効果が期待できる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ボランティア活動に対する行政資源の提供と団体の運営の透明性	行政がボランティア活動や市民活動の価値と意義を認め、行政資源を提供する仕組みを、ネットワーク化した団体と行政の間で協議していくことが求められる。そのためには、団体側も自立へ向けて力をつけなければいけないし、運営の透明性確保などボランティア団体側に求められるものもある。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	市民活動の支援	どの場所でもいかに、市民が何かをしたいときに、セーブをかけるのではなく、そのことに後押しをする仕組みをつくるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	協働に対する行政の支援	協働を進めるにふさわしい住民への支援が行われているかという点、そこは非常に弱い。市民事業を立ち上げるに当たっては、それなりの学びと場の提供が欠かせない。住民自治に対する行政側の支援が、まだまだ必要ではないか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	ネットワーク化促進の具体策	ネットワーク化を促進するための環境整備等は、具体策を書かないとイメージがわきにくい。行政が実質的にできるのは情報の集約くらいであり、徹底して行うべき。市HPの「市民参加」と統合してはどうか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	2)多様な主体との協働とその公益的活動への支援	都立公園や民間との連携	感動について、1つ方法としては、都立公園にもう少し市がコミットしていく必要がある。例えば井の頭公園について、コミットしていく。広域連携的な発想も大事だが、もう少し市が上手に絡むべきだ。それが市民の誇りにつながる。また、民間との連携が必要。行政や財団だけでなく、民間が行う公共的サービスについての情報も上手に発信すべき。公の領域問題はあがあるが、今後の財政状況を踏まえ、一定のことは民間と協力して行うべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	3)緑豊かな都市環境	緑を活かす仕組みの充実	これから大事なのは、緑を生かす仕組みである。使いづらい公園が非常に多い。緑を生かす仕組みをもっと充実させるということを記述すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	3)緑豊かな都市環境	里山の保全と生涯学習	緑という観点から生涯学習とまちづくりの関連について、加筆すべき。	関係団体市民会議(発言)

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	公園管理と各種団体	特色のある公園の管理は、より専門的な管理を行い、かつ、専門的な管理技術を、次世代へ継承すべき。公園の管理について、緑ボランティア団体やNPO法人を並列に並べるのではなく、目的別にネットワークを組めるように組織立ててまとめるべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	市民への啓発活動	一般の方の啓蒙啓発活動をすべき。市民に自然生態系や環境など広範囲に系統的に学んでいただくための啓発的なプログラムを組むべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	緑関連を集約した部署の設置	緑について、役所は縦割りで対処するのではなく、ネットワークを集約した部署、あるいは自然環境まちづくりセンターのような、(横に)つながった組織をつくるべきだ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	里山の保全に対する支援	若い人がもし仕事がないのだったら、里山に行けば仕事はまだあると思う。自治体がその支援をすべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	東地区の緑のあり方	緑被率等の地域的な偏りを記述すべき。市民が等しく豊かな味を味わえるような施策の方向性を示すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	井の頭公園の整備	井の頭公園は都や三鷹市の管理であるが、まちづくりに必ず反映される。井の頭公園の再整備を武蔵野市は行うべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	絶滅危惧種の植物の保護	武蔵野市内でも植物で絶滅危惧種にリストアップされているような大変貴重な種が残っているので、意識して保護することを記述すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	地域の緑化の推進	市内の緑被率の向上に向けた協働活動について具体性が欠ける。 過去に「緑のまちづくりレポーター」制度が7期14年続いた後、廃止となったが、こうした制度の復活と有効な運用により、地域における緑化の効果を上げるべき。 市の主催であった「落ち葉の感謝祭」が廃止されたが、市民の中に定着しはじめた落ち葉と緑化推進について啓蒙できるイベントであり、復活がほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	民間駐車場の緑化	中央から東部地区において、一定規模以上の民間駐車スペースについては緑化を制度化すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	市民の森公園等	災害に備え、ベンチ、トイレを増やすべき。クローバチップスで子どもたちが遊べるようにすべき。小さな滑り台は好評。小さな公園を多く設置すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	緑を日常生活に活かす仕組み	「市民の日常生活において緑が効果的に活かされる仕組みを検討し、実現化する」という記述を加筆すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	緑の保全・充実	緑を大切にしているまちである。今後とも、この調子で充実させていくべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	緑化施策の推進	「自然環境センター」に触れられていない。「二俣尾・武蔵野市民の森」「奥多摩武蔵野の森」はどうするのか。緑を量的に増やしていくことが難しい現実や、「公園・リニューアル計画」には触れないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	コミュニティガーデン	市民農園とは異なり、市民共同の畑として、落ち葉や生ごみから作った堆肥で土をつくり、種をまき、収穫するまで協働で作業する。コミュニティづくりの一環である。吉祥寺南町の遊休市有地をコミュニティガーデンとして貸し出していただけのような文章を記述して欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	コミュニティガーデン	個人が単位の「市民農園」では無く、市民が共同で管理運営、耕作し、農作物も地域に還元するような「コミュニティガーデン」を認知すべき。住民が土地を買うことは不可能に近い。「市民農園」と同様に、市の遊休地や市が民間から借り上げた土地の使用を認めるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	コミュニティガーデンの推進	公有地、民有地等、様々なスペースを有効利用して野菜を育てる運動を推進すべき。広いスペースは、市民が共同で作業するコミュニティガーデンとして使用することで、地域コミュニティづくりが進む。また、市の未利用地を利用できるといい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	緑の保全のための税の軽減策	税の軽減策を行っていかねば、武蔵野市では緑の保存は難しくなってくるのではないかと。このことをぜひ議論の対象にすべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	3) 緑豊かな都市環境	接道緑化の維持経費に対する支援	接道緑化維持に対する支援をすべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	協働による生物多様性に関する取り組み	低炭素社会、生物多様性の取り組みを市民、行政、企業が協働で実践するためのしくみづくりを早急に構築する必要がある。具体的なアクションプランを提案し、推進するためのプログラム作成まで踏み込むべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	生物多様性の高い緑	生物多様性が非常に重要になっているので、緑の質として、特に生物多様性の高い緑について、加筆すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	生物多様性への取り組み	武蔵野市は、都市における生物多様性の追求を他市に先んじて推進すべき。例えば「生物多様性都市」宣言でもするぐらいの意気込みが必要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	低炭素社会実現のための仕組みづくり	低炭素社会の実現のために、武蔵野スタイルという言い方でイメージをきっちりつくっていく。各町が競争で「私のところでモデル地域をやります」と手を挙げる形の方法等、取り組みやすい仕組みをつくるべきだ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	低炭素ハウス建設	都の補助金を利用し、低炭素ハウスを建設し、「テンミリオンハウス」ならぬ、「ファイブ・ミリオンハウス」等を全額都の助成金で建てる。この建物はフュークティは高齢者のための保養施設として使い、土日祝日は見学日とし、地球環境保全をPRする。武蔵野郵便局裏の土地開発公社の用地の空き地を活用し、ここに3000万円以内で9建設することを提案する。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	太陽光発電・緑化への支援	家庭の太陽光発電の設備改善に対する助成強化すべき。緑化問題では、民有地の緑は相当減っている。民有地関係の花を含めた緑についての支援を行うべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	太陽光発電・緑化への支援	公共施設と家庭における太陽光発電設備への助成措置を強化すべき。また、緑化対策として、道路へ花・緑の植栽をより推進すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	環境教育	環境教育は大事であり、触れるべき。知識としてではなく、自然との関係の中でのことを実態的に教えることが必要である。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	環境問題に対する考え方	行政としての環境問題に対する基本的な考え方をどうやって啓発していくかということは重要。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	地球環境問題の市民に対する啓発	地球環境問題について、基本構想・長期計画には、理念として掲げられているが、具体的な施策に乏しい感がある。市民への啓発活動について記載がない。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	環境に対する意識の低下	環境に対する武蔵野市の熱意が若干後ろへ下がったのではないかと印象を受けるのが非常に残念。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	環境施策の推進	環境基本計画の成果を記述すべき。また、ISO14001について、費用対効果を検証すべき。また新たな評価基準の導入についても言及すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	地方自治体のエネルギー施策	脱原発、エネルギー政策の地方自治体での自立を記載すべき。	パブリックコメント
Ⅶ分野別の課題Ⅱ 計画策定の基本的な考え方	3) 緑・環境・市民生活	4) 環境負荷の少ない生活や事業の推進	消費生活地球温暖化生物多様性に関する構想	消費生活における環境(食だけでなく住など各種)における展望を視野に入れた課題を盛り込んでほしい。また、基本構想の中に地球温暖化、生物多様性を含めた環境に対する武蔵野市としての構想がほしい。	関係団体意見シート

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
VI今後10年間の市政運営における4つの基本課題 VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	4)環境負荷の少ない生活や事業の推進	地球温暖化	今の最大の課題は地球温暖化を防止すること、市の施策のすべての面で地球温暖化防止の視点を加えること、を迫りたい。	関係団体意見シート
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	4)環境負荷の少ない生活や事業の推進	環境対策の市役所内の体制 生物多様性の問題	環境については、環境政策課だけではやりきれない部分がたくさんあるので、市役所内で横断的に取り組まないといけないということを記載してほしい。生物多様性の問題もはっきり書いてほしい。	圏域別(中央地区)発言
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	新クリーンセンター	新しいごみ処理施設は、焼却炉ではなく、熔融炉にすべきである。	圏域別(境地区)発言
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	新クリーンセンターの役割と広域処理の検討	新クリーンセンターについては、環境発信の拠点として廃棄物問題のパイロットとしての役割を果たすような施設とまちづくりをめざす。なお、広域処理は長期的課題であるが、今から検討すべきである。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	広域処理	多摩地域で広域処理について取り組むべき。焼却処理が少なくなれば、処理施設を再編成し、低炭素社会つなげる。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	焼却施設の広域処理化 焼却施設の焼却能力	武蔵野市が次の次のクリーンセンターをつくるときは、ぜひ広域処理を行うべきだ。書き込みは本当にありがたいなと思って、拝見いたしました。 しかし、検討委員会をつくっていたクリーンセンターですが、1つだけ心配なのは、既に「年間3万トン」と能力を書いている。これは少し気をつけた方がいいのかなと。検討中であり、能力まで記載すべきでないと思う。	市議会全員協議会
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	湖南衛生組合施設のあり方	武蔵野市は湖南衛生組合がほとんど利用されていない。これらの施設について今後の方向性を加筆すべき。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみの分別の徹底	ごみの分別の徹底を明記すべき。	市議会全員協議会
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみ排出量の目標設定	15ページに「多摩地域最小の600グラム以下とする」とあるが、いつまでに目指すのか。数字はきちっと出して、それを実行計画の中でやっていかないと検証もできない。	圏域別(中央地区)発言
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみの量の考え方	ごみの量について、今後は容量ベースを併用して考えるべき。重量ベースでは、施設の大きさについて感覚的に外れていく恐れがある。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみ処理費用の見える化	市民に対し、ごみ処理費用を見る化すべき。廃棄物会計という考え方があるが、ごみ処理の経費についても、見える化し認識できるような方法を導入すべき。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみ減量の具体的な検討	武蔵野市の家庭ごみ減量の具体化に向けた検討について、書き込むべき。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみ減量の目標設定	多摩地域最小の600g以下とあるが、目標達成時期を明示しないと単なるスローガンにすぎなくなる。長計の目標は、多摩ワースト4返上、市平均を目指してランキングアップを当初の目標とする。数値目標は、市平均の動向を見て一般廃棄物基本計画最終年29年目標に設定、これを年次別に展開、実行計画作成、実施し、チェックするシステムを確立する。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	ごみの分散処理	市民一人一人がごみ処理を自らの問題と認識するために、ごみ処理の広域化に加えて、ごみ処理の分散化(生ゴミ処理・剪定枝処理)についても、加筆すべき。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	生ごみ処理のコンポストの活用	生ごみ処理はコンポスト利用が一番良い。コミセンなどで見本を見せる方法はどうか。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	資源物の行政回収の段階的廃止	義務のない資源回収は、行政では行わず、民間の資源回収業者に任せるほうが経済的である。市は集団回収を推進しているが、行政回収を行っており、相互が競合関係にある。しかも、行政回収のほうが数量が圧倒的に多く、しかも、コストが高い。資源物の行政回収を段階的に廃止すべきである。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	廃プラスチック処理	廃プラスチックは、マテリアル・リサイクルには不向きであり、存続するとしてもサーマル・リサイクルに特化すべきである。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	5)新クリーンセンター稼働と周辺まちづくりの推進およびごみ減量	リサイクルセンターの取り扱い	「リサイクルセンター」はどうなったのか。レジ袋の削減など、ごみ減量の具体策は示さないのか。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	商業の活性化	高齢者にとって安心して近所が必要なものを求めることができる地域社会の育成は重要な課題である。また、起業支援等については、新たな地元での雇用を生み出すことを前提とすべき。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	担税力の維持	担税力を維持するような考え方、またそういった施策ももう少し加味していくべきである。商工業の活性化、また若者なり新しい企業支援等施策等についても取り組むべきだ。	市議会全員協議会
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	消費生活に関する記載	消費生活に関する施策が全くないことを危惧。高齢社会が進行する中、消費者被害の「予防」は充分ではない。声を上げることのできない消費者被害にあった人を放置しないために今より、一歩進んだ行政の取組みをすべき。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	商工業・農業振興等	「武蔵野ブランドの創出・活用戦略の研究」の成果はあったのか。起業支援のあり方や企業誘致の考え方の検討はどのようにするのか。行政がやるべきことか。農業について具体策を示さないのか。桜まつり・青空市は、今後も続けていくのか。	パブリックコメント
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	吉祥寺の地代	吉祥寺で商売をする際、お寺に払う地代が高く、このままでは吉祥寺が衰退してしまうので、市長から地代を下げるようにお願いしてもらえないか。	圏域別(吉祥寺地区)発言
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	新たな産業振興策の検討	地域で個性豊かな店が特殊性を出して活発に営業している個店もある。そのような個店を参考にして、どのようなことができるかという検討を行うべきだ。	市議会全員協議会
VII分野別の課題	3緑・環境・市民生活	6)商工業・農業の振興	法人・企業の振興	法人・企業の声を基本構想・長期計画にどうやって生かしていくのかということを伺う。また、法人会のトップにヒアリングを行うべき。	市議会全員協議会

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	6) 商工業・農業の振興	起業を支援を含めた、成長戦略	30代、40代の納税者をしっかりと支える施策としての、起業を含めた成長戦略について言及すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	6) 商工業・農業の振興	農業振興	商工業の振興の記載内容は、農業者に対しましては大変ありがたい内容であり、大変感謝している。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	6) 商工業・農業の振興	TPP反対	TPPについては、国の問題であるが、反対である。農業者だけでなく、食の安全・安心の面でも反対すべきである。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	都市観光の目的の明確化	今、観光は、商業、農業、まちの活性化の手段として活用する上では非常に有効である。武蔵野市の観光の目的を明記すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	観光導入の目的の明確化	曖昧で意味不明の表現が多い。都市観光導入の目的として、商業と農業の活性化と市民と来訪者との交流に伴う市民のまちづくり意欲の向上をきちんと書くべきである。「訪れる人達が目的とする都市観光の資源を明らかにし、それを磨き上げる」ことを記述すべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	都市観光の推進	都市観光の推進をしっかりと記載すべき。文化・芸術や武蔵野市らしさのようなものを基本構想の中に記載すべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	観光推進機構の紹介	観光推進機構の紹介はしないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	武蔵野市または吉祥寺のブランド力、魅力の維持向上	武蔵野市または吉祥寺のブランド力、魅力をどうやってこれから維持・向上について、どのように考えているか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	武蔵野市のブランドの創出	武蔵野市は、福祉と吉祥寺でもってきているんだと思っている。まちのイメージとかブランド力を、本質的なありようの問題としてそうなんだということ、10年かけてつくっていくのか、非常に大事なものである。その点についてのご意見を伺う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	7) 都市観光の推進	都市の魅力としてのノスタルジック	歴史を学び、一種の目標、夢と回帰性との関係、ノスタルジックとの関係を少し追求されてはどうか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	地域の災害協力体制	ボランティアによるマンションの防災体制の再構築を検討するため、地域における災害協力体制についての市の構想を聞きたい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	災害時要援護者支援体制の確立と維持	要援護者は年齢とともに変化するため、毎年、本体制の更新・維持が必要である。毎年、9月1日 防災の日などで実地訓練すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	総合防災訓練における役割分担の明確化	現時点で、四師団での役割分担・相互理解が難しいと感じる。役割分担を市が主導して指針すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	地域の防災・防犯活動への協力	現在、各地の防犯や防災の活動に関し、情報不足のところがある。要請があれば参加させてもらいたい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	災害情報災害時マニュアル	武蔵野市は災害情報が分かりにくい。災害時にとるべき行動等の保存版マニュアルを発行すべき。また、ボランティア等について関わる仕組みや制度の構築が望まれる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	自主防災態勢の強化	今回の大地震を教訓に、自主防災組織の拡大を重視する。市の防災課は、自主組織であることを理由にせず、現状の組織の横の連携を促し、新しい会の結成に力を尽くすべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	防災態勢のあり方	地域防災計画と関連させるのか、市民防災協会の今後については触れないのか。また、組織間の連携について触れるべき。災害時ペーパー対策検討委員会の答申の扱い。防災安全WEBの使い勝手も重要な課題。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	防災広場における防災機能の完備	「防災広場」において防災機能の完備を望む(本宿公園には東町防災広場と同様の機能なし)。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	8) 防災態勢の強化	広域的な防災計画の必要性	防災計画には近隣市や広域防災計画がない、不可欠である。1人世帯の孤立化、無縁化に対する安心・安全に対応した具体的取り組みを計画に盛り込むべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	9) 安全・安心を実感できる魅力あるまち	防犯協会の掲示板	「市報を読もう！キャンペーン」提案に賛成。お金をかけず、地域を愛する市民を増やせるしくみとして、防犯協会の掲示板の有効活用(近隣住民の力を生かす)を考えている。	圏域別(中央地区)意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	9) 安全・安心を実感できる魅力あるまち	市民の自主防犯活動の支援	市民安全パトロール隊・ホワイトイーグル・ブルーキャップともとても良い施策だが、市民が自主的に防犯に取り組むことこそが最も大切。防犯協会をはじめ、市民が自主的に防犯活動に参加しやすくなる施策を進めてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	9) 安全・安心を実感できる魅力あるまち	地域の見守り活動の推進	商業が盛んにも関わらず、治安がよく思う。このまま地域の見守り活動を推進すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	9) 安全・安心を実感できる魅力あるまち	喫煙のあり方への言及	駅周辺の喫煙や公共施設・民間施設での喫煙のあり方、公衆トイレのあり方については、触れないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	9) 安全・安心を実感できる魅力あるまち	用語の使用	“体感治安”では意味が通じづらい。一般人の認識の用語に変換が望ましい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	男女共同参画に向けたサポート体制の活性化	男女の差異を理解した上で、協力・協働しあえるようなサポート体制等を、より活性化すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	ヒューマンネットワークセンターの移転	平成25年頃に予定されている施設の移転に伴い、男女共同参画施策の拠点として、また、市民・地域の課題解決のための実践的市民活動の拠点として、条例に基づいた新センターが設置されるように、計画に記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	ヒューマンネットワークセンターの移転	理念だけで、施策が書かれていない。ヒューマン・ネットワークセンターは移転が予定されているはず、触れるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	ヒューマン・ネットワークセンターの活動基盤の充実	センターの規模・機能・予算などが、不十分であり、男女共同参画推進施設拠点として十分に機能しているとはいえない。活動基盤の充実を記載すべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	構想・計画への男女共同参画推進の明記	男女共同参画推進施策は幅広い分野にまたがる優先度の高い施策。構想・計画の目標と理念、そして分野別課題のところにそれぞれ明記すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	「男女共同参画推進条例」の制定	第二次男女共同参画計画アクションプランに基づいて、男女共同参画施策を一層充実させるべく、「男女共同参画推進条例(仮称)」の制定すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	10) 男女共同参画社会の推進	男女共同参画社会の推進	男女共同参画は大事、男女共同参画の記載があるが、表現が弱い。地域で仕事をつくるということと同時に、男女共同参画の意味の大きさ、重要性、可能性をもっと記載すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	歴史資料館の場所	戦争の記録を残すことは非常に大事なことだ。歴史資料館の場所については中島飛行場があった中央公園の近くが適していると思う。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	歴史資料館の設置場所	P-16-VII-3-11. 西部図書館の跡に「歴史資料館」を開設することは喜ばしいことだが、立地には市民の意見を取り上げ、出来れば歴史のある場所(例)中島飛行機)に設置してほしい。	圏域別(吉祥寺地区)意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	歴史資料館の設置	歴史資料館を全市レベルの施設として市の中央部に置くべき。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	歴史資料館の設置	武蔵野市には常設の郷土史館がない。市内にまだある空地などを活用するなど、文化財をみんなに見える形にしたい。	関係団体市民会議(発言)

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	歴史資料館の設置場所と内容	歴史資料館については、経費について分析・公開された上で、設置場所を含めて市民と市が共に検討できる場を設け、そこの検討をふまえて設置場所と内容が決定されるよう記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	歴史資料館	西部図書館跡に歴史館をつくってももらえるのは非常にうれしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和の基本構想への記載	平和の課題について、基本構想部分に明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和の基本構想への記載	平和について、独立した項目としていただきたい。また、持続可能性の基本は平和であることであり、基本構想の中にも平和の大切さを書き込んでほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和の基本構想への記載	「平和施策の推進」について構想への記載。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和施策推進の項目立て	「平和施策懇談会」の報告書の尊重及び「平和施策の推進」について分野別の論点の中の一つとして項目を立てるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和の記述	「平和」は独立の項目を立てて、記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和施策の推進	平和施策を特に重視して進めてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	平和施策への言及	平和施策について、市長マニフェストでは重要施策として掲げられている。もっとボリュームを割いて書くべきでは、	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	市民文化の継承	武蔵野市は戦後の市民文化を代表するような学者が多く住んでいた。そういったことを、ほとんど知らない人が多い。図書館の活動や文化活動の中に、そういうことも視野に入れることが重要ではないか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館の閉館	西部図書館の利用者は多い。実態を知って、廃止はやめてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館の閉館	西部図書館跡は市民との協働で決めるべき。歴史資料館が突然浮上したのは驚いた。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館の閉館後は、テンミリオンハウスのような地域の集まれる場所にしてほしい。	圏域別(境地区)意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	「西部図書館閉館後の施設のあり方」については、歴史や公文書などの資料だけでなく、一般図書を含めた図書スペースや閲覧・学習スペースを半分以上備えた施設とすることを要望する。歴史資料はできる限りデジタルアーカイブ(電子書庫)化し、その他の民具や資料はなるべくどこか武蔵野市の施設の倉庫に置か、資料にゆかりのある地域の学校などで活用してもらおうべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	閉館する西部図書館施設に図書館機能を残すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	住民の意見を聞かないまま記載されていることは承諾できない。ケーススタディしながら、確定的に書いていることは疑問。早急に活用方法について住民と意見交換を行うとすべきです。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	図書館廃止条例の付帯意見の実現を求める。複合施設として、読書室、自習室、児童室、イベント室、高齢者の寄り場、休憩・憩い室など、地域・周辺住民が学び、交流し、そしていこいの場として、引き続き、利用できるようにすべき。一部図書館機能を残すべき。周辺住民との話し合いの場をもうけるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館の廃館には反対であるが、都の貸と条件に従い、改めて市民の為に複合施設として、急ぎ再開してもらいたい。新施設に関し、市は市民と話し合いの場を設定せよ。読書室、自習室、児童室、イベント室、高齢者の寄り場、休憩・憩い室、歴史資料閲覧室等々。大衆の図書館機能の存続。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館跡地に、資料館を計画していると知り残念。是非、図書室を残すべきだ。西部図書館地域には、みんなが集える公共施設がない。地域周辺の住民の交流、憩いの場としてのスペースも確保すべきだ。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館の図書館機能が廃止について、残念である。多様な目的に利用可能な一定のスペースを残していただきたい。自習可能な図書室、地域周辺住民の交流、いこいの場に資する一定のスペース確保。維持管理に費用をかけず、ランニングコストを最小限に運用する方法で取り組んでほしい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館を歴史資料館とすると記載されているが、さまざまなことにまだ使用ができるので、明記は早いのではないか	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館跡地の歴史資料館については、9月の議会で議案に対する付帯決議を出したが、このことについて、策定委員に情報が入っているか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	西部図書館閉館後の施設のあり方	西部図書館の跡地は歴史資料館として活用するとはっきり明言されているが、討議要綱の他の部分の記載内容と異なる。その意図を伺う。この記載であると、決定ではないといっても、そのことが必ずひとり歩きする。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	市民会館の図書室廃止の再考	討議要綱は、総花的に理想を述べるよりも、出来る事、出来ない事がはっきり分かる方がありがたい。市民会館の図書室は近隣市民にとって利用価値が高く、利用者も多いため、廃止の再考をお願いしたい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	施設利用の促進	市民会館、各コミュニティセンター、武蔵野プレイス等の「箱物」を市民一人一人が有効に利用でき、十分に市民活動を楽しめるようにしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	市民会館のあり方	コミセンがない地域であるため、市民会館を食事や話ができるスペースであると良い。仕切りも緩やかにして欲しい。子どもの放課後の居場所づくりや高齢者の居場所づくりにも市民会館を境地区の拠点にしてほしい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	市民会館のあり方	市民会館は社会教育施設である。図書室が廃止されて後、単なる貸し部屋でいいのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	市民会館のあり方	市民会館の将来にも関心を持っている。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	市民会館のあり方	市民会館の「地域開放型の集会スペース」とは何か。図書室の閉館も含めて、市民への伝え方を考えるべき。プレイスやイングがある状況の中で、市民会館そのものの位置づけ、役割については、議論しないのか、市民会館は、社会教育施設であるから、2子ども・教育の生涯学習で取り扱うべきでは。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	社会教育及び市民会館のあり方	地域開放型スペースと市民会館及びコミュニティセンターによる貸し部屋機能などとの整合性が取れていない。コミュニティ形成へのかかわり方なども含め社会教育の今後の方向性について早急に検討すると一文を加えるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	公会堂立て替えに関する意見聴取	武蔵野公会堂を建て替えをする場合、どのような施設にするか計画段階から市民の声を聞く旨記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	公会堂のバリアフリー化	公会堂のバリアフリー化のため、昇降設備を設置すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	公会堂のバリアフリー化	公会堂のバリアフリー化のため、昇降設備を設置すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	施設のバリアフリー化	プレイスの開設により交流センターが無くなると、吉祥寺地区で、バリアフリーの集会所が無くなってしまふ。施設のバリアフリー化を進めるべき。また、商工会議所の1階は市民の集いの場にすべきではないか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11) 市民文化発展の支援	文化施設の見直し	施設の見直しの検討する際に、地元住民を含めて、計画段階からの市民参加を保証すること。中島飛行機製作所関係の資料の問題など内容についても決まらない中で、西部図書館跡と記載したことは疑問がある。市内唯一の社会教育的な施設である「市民会館」については、図書室の閉鎖はともかく、「市民会館」そのものの存続・充実に記載すべき。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11)市民文化発展の支援	公的施設の総合予約システムの構築	公的施設の総合予約システムを構築すべき。空き状況を調べ、予約手続きを踏むことは、市民にとっては、労力を要するものである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11)市民文化発展の支援	具体的な施策の記述	具体策は示さないのか、「市民文化振興総合計画の策定検討」はどのようなか、生涯学習と市民文化は重なる部分が大きいので、この長期計画の中で整理すべきでは。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11)市民文化発展の支援	自治体文化の発信	先進的自治体と言われつづけてきた「武蔵野市らしさ」が近年薄らいできている。本市は、市全体で一貫した理念を共有し、計画行政により、総合的に施策を実現してきたからこそ、先進都市として注目され続けてきた。これからは地方自治体の先駆的役割としての「武蔵野市の都市文化・自治体文化」を発信していくべきだ。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	11)市民文化発展の支援	武蔵野市の文化の継承	市の10年間の計画をつくるのを、昭和46年以降の市民参加、それから議会参加、職員参加でやっていくのの一つの政治文化。クリーンセンター建替えを市民とともに研究して、決めていくのも一つの生活文化であり、行政の文化である。そういう仕組みで、ハードであれ、いいまち、いい文化を次にバトンタッチしていくのが我々の仕事である。文化について、私は総合的にとらえている。ぜひともいい文化をつくってきたい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	旧桜堤小学校の跡地利用	旧桜堤小学校の跡地にアーチェリー・フィールドを整備してほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	旧桜堤小学校の跡地利用	旧桜堤小学校の解体後の体育館には総合体育館のサブ・アリーナくらいのアリーナがほしいし、会議室も設けてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	旧桜堤小学校の跡地利用	隣接する桜野小学校では、児童数の将来推計よりも多くの児童が在学している状態である。現状での校庭の狭さと実態をよく検証し、当面は、桜野小学校の第二校舎(校地的な利用を主体とし、空いた時間を市民利用にあてるべきである。大人の運動公園としての利用は少し控え、子どもを主体に慎重に検討してほしい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	旧桜堤小学校跡地利用	桜野小学校の学級数が足りなくなる懸念あり。国は35人学級を進める方針であり、運動公園よりも公立学校の学級数を優先すべき。運動公園にすることの目標も見えない。決定するのは早すぎる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	総合スポーツセンター	武蔵野市には地域のスポーツクラブがない。旧桜堤小学校に少し手を加えれば、総合スポーツセンターとして非常に適している。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	スポーツの振興	スポーツ振興計画には触れないのか。民間のスポーツ施設との連携や東部地区のスポーツ施設の設置は検討しないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	スポーツの振興	旧桜堤小学校の校舎を解体し、体育館と共に運動公園として活用するしか記述がない。武蔵野市のスポーツの振興は、それだけではない。考えを伺う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	スポーツ振興施策について	スポーツの記述について、このまま載るとすると、スポーツの振興は桜堤小学校の跡地に限られていると誤解されるのではないのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	12)スポーツの振興	旧桜堤小学校の運動公園としての利用の再考	桜野小学校の児童の増加率が予想よりもピッチが早く多い。桜堤小学校校舎及び校庭について、桜野小学校が利用することも考えられるため、再考すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	13)都市・国際交流の意義	交流事業の目的の明確化	成果が全く見えない。1番として目的の明確化。2番目として交流計画の策定。市民間が交流であるべき。3番目として事業の継続、廃止の基準の明確化。この3つを記述すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	13)都市・国際交流の意義	国際交流協会事業の追加記入	以下の文を追加してほしい。「……また、市の国際交流協会(MIA)を中心として、武蔵野市を生活圏とする外国人の日常生活に対する支援や交流を行い、身近な地域コミュニティ内の多文化共生のまちづくりを推進する。」	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	13)都市・国際交流の意義	交流の目的の明確化	(1)交流の目的の明確化、(2)交流計画の策定とより多くの市民が関わることのできる多様な交流手法の検討、(3)事業の継続、廃止の判断基準の明確化。について、きちんと記述していただきたい。行政間ではなく住民同士がお互いに顔の見える交流を実現し継続していくためのしっかりとした交流計画を作成することは十分可能なはずである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	13)都市・国際交流の意義	行事や催しの開催の充実	市民レベルで多彩な文化を知り、楽しめるような行事や催しの開催を充実すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	13)都市・国際交流の意義	今後の交流のあり方	検討の方向性の明示。友好都市により、交流の濃淡があるので整理すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	3緑・環境・市民生活	13)都市・国際交流の意義	どのような人も排除しないまちづくり	どのような立場の人も排除しないまちづくりについてどのように考えているのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤		御殿山通りの整備	市が玉川上水沿いの御殿山通りの拡張計画で立ち退きが2軒残っている。一体いつごろなくなるのか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤		道路整備への言及	道路についての項目がない。具体的案路線の整備を記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤		都市計画マスタープランと長計について	4月に都市計画マスタープランの改定版が出るので長期計画で重点的に位置づけるもの、表現、内容の調整、整合性を確保してほしい。また、コミュニティ単位の意見交換会議論をした報告書があるので、委員会でも検討して、長期計画に反映していただきたい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	市民の連携・協力の方策	16ページに市民の連携・協力のもとにまちづくりを推進するとあるが、具体的にはどのような方策を考えているか。一堂に会して話し合うような場が必要だと思う。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	市民の連携・協力の方策	市民がまちのあるべき姿を考えるということになっているが、市民は仕事や子育て等をしているのでもいきなりはできない。市が条例に基づいて協力を推進するとあるのだから、具体的にどうするかをきちんと入れてほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	「公共圏」について	異なる分野、立場の人と団体が意見交換、合意形成をする「公共圏」について明記してほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	高層建築物の規制	跡地のようなところに高い建物は建てられないようにすることを計画の中に入れるか。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	まちづくり条例の周知と効果のある施策の重点化(出店についての見解)	市民意識調査では、「まちづくり条例」の認知度は1割に満たない。市のまちづくりの考え方を市民に伝えるなど、実質的な効果がある施策に重点をおくべきでは。また、パチンコ店や風俗店の出店について、見解は示せないか。調整計画や個別計画の成果に触れないのか。また、開発会社の今後の展望を示すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	マンションとまちづくり	マンションの管理組合と地域と、行政のパイプの構築。さらに、市内のマンション分布も都市計画すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	1)市民のビジョンとまちづくりの整合	手を貸して欲しいというやすいまちづくり	武蔵野市が、手を貸してほしい、そして手伝ってほしいということが言いやすいまちにしたい。そうすることで、次のステップとしての、地域の課題とか、新しい仕事があるのではないのか。社会的起業も、そういうところに必ずつながっていくと思う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市のリニューアル	シルバー人材センターの建物の改築	シルバー人材センターの建物の改築の道筋だけでも立てる必要がある。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市のリニューアル	シルバー人材センターの建物の改築	シルバー人材センターの建物は既に30年近く経ち、バリアフリーにもなっていない。改築の道筋だけでも立ててほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市のリニューアル	上下水道管の耐震化と災害時の情報伝達	上下水道管の耐震化対策が長期計画の中でどう進められるのか。災害時の放送用のスピーカーについて検討してほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市のリニューアル	上下水道の実情の精査	上下水道については、実情を市民に正しく伝えない限り料金問題だけでは理解を得られない。担当課の精査が必須。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	下水道リニューアルの必要性	下水道における行政と市民の役割分担についてのイメージがわからない。リニューアルの必要性をどのように市民に伝えるか記載すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	下水道リニューアルの費用負担	下水道リニューアルについて、どのようにお金を集めるのか明記すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	法政跡地の汚水槽の設置	法政跡地の汚水槽設置について行政からの情報が住民のところに正しいタイミングで届いていない。住民からの提案について市は積極的に考えてくれない。汚水槽設置以外の方法について住民とじっくり考えてほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	法政跡地の汚水槽の設置	法政跡地の貯留槽について正しい情報を提供して、全市民の理解と協力を得られるようにしてもらいたい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	道路に関する意見交換の場	道路の問題などでコミュニティ協議会は、意見交換の場づくりなど一生涯やっていく。市もそういう組み立てを目指してきたと、もっとアナウンスしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	バリアフリー	音響信号機(視覚障害者用に音が鳴る信号機)を押しボタン方式ではなくて、視覚障害者1人1人にICチップを渡して、そのICチップによる電波の発信のときだけ反応するようにしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	バリアフリー	バスをノンステップバスにしてほしい。段差の非常に高い道路があるので解消してほしい。点字ブロックの上に自転車とか花を絶対置かさないようにしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	バリアフリー	○音響信号機をICチップ対応 ○バスのノンステップ化 ○段差解消 等	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	電線の地中化	街づくりの中で電線地中化はすすめてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	公共料金値上げの抑制	適正な受益者負担の内容は不明確であり、公共料金の値上げを抑制すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	受益者負担の適正なあり方	受益者負担という考え方は当然理解もできる。ただ、その中で適正なあり方はどうか、いわゆる生活弱者と言われる方々そうした方々も同じように負担しなければいけないものなのかどうか。こうしたことも当然考えていかねばいけない課題である。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	都市のリニューアルの重要性	長期計画は個別計画の上位にある。分野別で課題の優先順位をつけるとしたら、「4都市基盤2都市のリニューアル」が重要である。ハコモノへのこれ以上の投資は不要だが、ライフラインはすべての市民の生活のベースとなるものである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	2)都市リニューアル	水循環の視点	大きい水循環という発想がない。将来的に雨水と汚水を分けるようにすると莫大な予算がかかるとした場合、どう組み込むか。長期にわたり、持続可能性や経済的・環境的な側面にも係わる、大きい水循環ということを武蔵野市が提案するべきである。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	4)安全・安心まちづくりの推進	公共施設の耐震化と市の地盤構造	公共施設の耐震化は現在どうなっているのか。市の地盤構造についても公表してほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	4)安全・安心まちづくりの推進	吉祥寺駅周辺の環境	吉祥寺駅北口に朝に泥酔した若者が騒いでいる。周辺の居酒屋を0時まで閉店させるなど解決策を考えるべき。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	吉祥寺駅周辺の歩道の整備	吉祥寺駅から西荻窪駅への道の途中で歩道がなくなる。歩道を整備してほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	292号線の安全対策	292号線(道路)について、歩行者の安全のため一方通行にし、速度制限、又は速度抑制の為の対策をしてほしい。	圏域別(境地区)意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	市道292号線の安全対策	開通予定の市道292号線には信号機、ミラー等が全くないが、垂大通りの信号が滞るとたくさん車が迂回してくると思うので、安全対策を設けてほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	292号線の景観対策	市道292号線は自然・緑との共存をふまえたものとし、単にガードレールを設置するのではなく、緑をベースとした設備を設けるなど武蔵野市らしいまちづくり、景観を維持すべき。	圏域別(境地区)意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	ムーバスの経路	ムーバスを少し迂回して頂きそへらの家を経由するようにしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	ムーバスの路線拡充や時間延長	ムーバスの路線拡充や時間延長。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	ムーバスの車椅子対応	車椅子で乗車する場合、どこかのバス停が対応しやすいか表示すべき。ムーバスは、容易かつ短時間に車椅子用スロープの出し入れができる構造にすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	ムーバスの路線	武蔵境の駅前から市の北側を回って吉祥寺まで行くムーバスの路線を作ると市役所にも行きやすくなり、市民協働が進むのではないかと。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	歩道の拡幅	女子大通りの歩道を拡幅してもらいたい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市整備	5)安全で円滑な交通環境の整備	防災における道路の重要性	高架化に伴い設置された市道292号線には現在安全対策がない。信号、ミラー、横断の印など。安全対策を進めるべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	安全な道路ネットワーク	17ページに「歩行者、自転車、自動車の共存を観点とした道路ネットワークの構築」と書かれているが、きちんと分離したネットワークを構築するべきではないかと。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	自転車のルール	自転車でも後ろから追い越すときはベルを鳴らすことを市役所が徹底してほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	普通自転車通行帯の設置と拡充	道路や歩道の幅員に余裕がある部分には、早急に「普通自転車専用交通帯」を整備し、自転車の交通事故に歯止めをかけるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	暴走自転車	歩道の広いところほど自転車がすごいスピードで走っているが、市でできることはないか。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	通学路の安全	自転車専用道ができたが、歩道と重なるところがある。また、自転車のスピードが上がったので、実際に通学路をももう少し見てほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	通学路の安全	習い事や塾からの帰宅時に通学路である大正通りの電灯をLEDにしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	公共の道路のバリアフリー化の推進	高齢者に対して、優しい道路となるような環境整備をすべき。(高齢者に優しい道路のバリアフリー化の推進)	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	歩道のスロープ勾配の緩和	都道114号線「吉祥寺通り」から「吉祥寺市政センター」に向うT字交差点において、歩道から車道に降りるスロープの勾配が急である。車椅子で通行する場合危険。勾配ゆるやかにするよう改修すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	道路のバリアフリー化	吉祥寺通りから公園に入る道路を早急に整備すべき。また、公園の中央北口と井の頭通り間の出入口の通路は階段になっており、車椅子で通行できないため、エレベータを設置すべき。なお、井の頭公園の出入口には、車椅子生活者向けの公共サインを設置すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	避難標識の統一化	異なるデザインの避難標識の設置が進められているが、全国的に統一された仕様にするべきだ。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	道路の簡易スロープの撤去	店や車庫等に入りやすいように、個人や事業者が道に設置している簡易スロープについて撤去するように市の指導を徹底すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	安心な街づくり、安全な道路	現在のまち創りや道路行政は、人優先に逆行している。この項の考え方に賛成である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	新駐輪場制度	現在施行されている新駐輪場制度を紹介すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	バランスよい交通機関の整備	様々な交通機関がバランス良く共存していけるような整備をすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	子育て家庭のための交通機関の整備	ひまわりママでは子どもを送迎するときに自転車を利用するが、非常に困難であり、子育て家庭にもレモンキャブのようなものが欲しい。交通機関の整備をお願いしたい。	関係団体市民会議(発言)

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	5)安全で円滑な交通環境の整備	歩行者最優先・自転車の活用及び自動車利用抑制	自転車の積極的な側面(自動車に代わるエコな乗り物であること)を評価し生かすべき。また、歩行者最優先・自転車の活用と自動車利用の抑制を観点とした道路ネットワークの構築をめざすすべきである。自動車利用の抑制は、CO2削減策である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	居場所問題	17ページで「住まい以外にも思い思いに居ることができる場所を自ら持つことが重要である」とあり、市はあまり手を差し伸べないと読める。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	居場所問題	居場所づくりについて、市民が自分たちで努力するときに行政のサポートは必要。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	居場所問題	居る場所は、ハードの面でも、ソフトの面でも考えられる。高齢者や、単身者が、自ら持つことは難しい。言葉が厳しすぎるし、決めつけすぎではないか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	居場所問題	コミュニティセンター以外に、テンミリアンハウスよりも小地域(気軽に歩いて行ける距離)を対象にした居場所づくりを書き込むべきだ。住民の総意と熱意があるところから、モデル事業をはじめるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	住宅問題としてのトータルの支援の必要性	住宅の問題は、支援を受けなければならない方では、自力ではどうすることもできない場合がほとんどである。ゆえに、住宅支援は、相談だけで終わるのではなく、トータルに関わり解決までたどり着くという意味での伴走者のような役割が必要。そういう、いろいろな問題が重なったものが、住宅問題という認識を示すべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	UR住宅	独立行政法人の民営化などもささやかれ、危うい状況にあるURを武蔵野市はどう考えるか、明記をしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	UR住宅	UR住宅について、市の施策の中で果たした役割を明記すべき。福祉施設の設置や緑化推進など、市の施策に対する協力を行っている。現在の協力が育んだ地域の良好な絆は、コミュニティの最たるものである。長期計画の中に、市に住み続けたいと願う居住者の願いを入れた住宅施策計画を付け加えるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	積極的な住宅施策の推進	「管理運営の見直しの検討」の記述を削除すべき。「相談・情報提供」だけでなく積極的に施策を推進すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	少子高齢化対策としての容積率の緩和	少子高齢化対策として、容積率の緩和も考えるべき。時代は変化している。都市景観上での問題があるが、検討すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	容積率の緩和	40/80の容積率だと、二世帯住宅は厳しい。容積率の緩和についても、議論の俎上に乗せるべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	住まいの在り方	都市景観問題も絡むが、一方少子化対策上からも新しい住宅確保が可能な、容積率の改定等検討すべき	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	市営住宅の充実	障害者、高齢者が入居しやすい市営住宅の充実。低所得な障害者に対する家賃補助の増額。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	市営住宅や福祉型住宅についての市の責務	市営住宅や福祉型住宅を公平性や効率性等の面から検証し、管理運営の見直しの検討を行う。これはどういう意味なのか。また、相談・情報提供だけでいいのか。行政にはもっと責任があるのではないか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	市営住宅や福祉型住宅についての市の責務	市営住宅、福祉型住宅、公営住宅の問題について規模が需要を満たしていない、倍率が高くて入れない人がたくさん出ている。それをどう解消していくか。公営住宅を拡大すべきであり、家賃助成を行うべきである。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	具体的施策への言及	住宅マスタープランや空家対策には触れないのか。「住まい以外にも思い思いに居ることができる場所を自ら持つことが重要である」は、何を意味しているのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	若者の住まい	コミュニティ再生の仕掛けの1つとして、空き家、空き室を活用して、若い人に安い家賃の家と仕事(高齢者の見守り・声かけ)をセットで提供し、市民と行政の協働で、若い人の住めるまちを実現すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	子育て世帯と高齢者単身世帯に対する住宅対策	高齢者の資産有効活用、ファミリー世帯の居住支援等を行い、うまくすり合わせることも、情報提供を行い、若い子育て世代に住み続けていただきたい。現状では、経済的な問題、住宅の問題で住み続けられない。それらの対策を記載するべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	高齢者の住まいの共同化	大学生の市内での住まいの確保と高齢者との共同の住まいづくりを行うべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	高齢化を踏まえた二世帯住宅の推進	高齢化を踏まえると戸建を二世帯住宅とし、親と子が一緒に居住することが合理的である。それについての記述を追加すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	6)安心して住み続けられる住まいづくり	相続税について	相続税により、企業が存続しなくなっていくという意見がある。それにより地域の雇用も失われる。相続税を国の政策として、市町村は関係ないという立場で捉えるのではなく、ぜひ策定委員の中で話し合うべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	特色あるまちづくり	吉祥寺・中央地区、三鷹、境はまちの形成が全く違う。同じようなまちづくりをすることはない。地域ごとの特色のあるまちづくりが絶対に必要。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺グランドデザイン	「三駅周辺まちづくりの推進」の三地区は商店街のことか。特に吉祥寺地区は吉祥寺グランドデザインが決定しているが、外されているように見える。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺へのまちづくり会社の設置	行政のサポートにより、民間でまちづくり株式会社をつくる必要がある。吉祥寺の商業地はほぼ全て借地であり、最終的にはこの問題まで掘り下げなければ、吉祥寺の商業のあり方は考えられない。地主も交えて、一緒にまちづくりをしていくという形をぜひつくってほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅周辺の環境浄化 吉祥寺のあり方	吉祥寺駅周辺の環境浄化が行われていない。吉祥寺は若い人の集まる場所にはなっているが、中高年以上が買い物をするところではなくなった。吉祥寺はそのうちつぶれる。市としてどのように考えているか。法政跡地は、市が高いお金で買って貯水槽を作るといことで、地域のことを全く考えてくれない。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅周辺の公共交通環境の再構築	吉祥寺駅周辺地区において、駅前バスターミナルとタクシープールの整備を、交通環境の再構築計画に盛り込むべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅南口整備	吉祥寺駅一末広通り一前進座劇場一井の頭公園一吉祥寺駅という回遊路を楽しむ空間として実現して欲しい。ぜひ夢も書き込んで欲しい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅南口整備	南口広場の整備の推進。余りにも言葉が短い。南口の暫定広場の買収に関しては、もっと強い口調で不退転の決意でやるとか、そういう気持ち記載すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺駅南口整備	吉祥寺駅南口の問題は、都市基盤整備の大課題であるが、そのことで、パークロードを人中心の道にするという夢が実現できる。また、井の頭公園の緑を北口に繋げることが可能となり、緑とともにある吉祥寺をつくるというコンセプトの実現に、さらに近づく。ちょうど今、広場問題解決の要素ができてきている。南口整備を進めるべきである。	市議会全員協議会

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	今後の吉祥寺地区のまちづくりの具体像の明示	吉祥寺の今後のまちづくりの具体像が示されていない。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	吉祥寺のまちづくり	吉祥寺のまちづくりの課題、イースト吉祥寺の再開発の問題、ハモニカ横丁をも課題である。特に、JR吉祥寺駅を今、改装します。それから、京王ビルも改装している。このタイミングに吉祥寺のまちづくりにしっかり取り組まなければいけない。これについてのお考えを伺う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	井の頭公園との連携	井の頭公園ともっと連携したらどうか。都の応援だということではなく、武蔵野市もアイデアを出し、市民公園的な部分で連携し、それを売りにできないか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	三鷹駅北口のあり方	三鷹駅北口は商業地域ではあるが、閑静な低層住宅地と隣接している地域であり、それにふさわしい街づくりをしてほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	三鷹駅周辺のまちづくり	あまりにもビジョンのない記述。三鷹駅は文化ゾーンの玄関口でもある。早急に景観条例・景観計画を策定する方向で検討を開始し、都市景観の観点から三鷹駅北口周辺のまちづくりを考えるべき。また、比較的狭く、地域の住民の生活を支える商業活動となっていることから、吉祥寺駅周辺地区とは違った展開が求められる。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	三鷹駅北口のまちづくりビジョン	三鷹駅北口のまちづくりビジョンについて具体的に聞きたい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	三鷹駅北口のまちづくり	中央地区については、三鷹駅北口の開発については民間活力の導入を図りたいとあるが、それについての考えを伺う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	今後の中央地区のまちづくりの具体像の明示	三鷹駅北口の低未利用地を明示されていない。方向性を示すべき。市長マニフェストにある御殿山通りについて、言及しないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	三鷹駅北口へのパチンコ店	三鷹駅北口の武蔵野タワーズの隣に、パチンコのビルが建設されたことは遺憾。他に、誘致できる施設がなかったのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	武蔵境駅南口の整備	武蔵境駅の南口の整備についても計画の中で検討してほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	武蔵境地区のまちづくり	武蔵境地区については、徒歩と里山をキーワードとした特色ある地域をつくるというようなことを記述すべき。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	武蔵境地区のまちづくりの具体像	境駅前周辺開発の完成時期を示すべき。また、境のまちづくりの主体の連携という場合の主体を明示すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	駅周辺のまちづくり	市内の駅は、他の中央線の駅作りと比較しても不ぞろい。古き良い点を残し、新しい点も必要性を論じ取り入れるべき。無理な駅作りではなく、日々の生活を確実に位置づけるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	外郭環状線の2	外郭環状線は地域課題検討会では99%が反対、残りの人もつくるなら緑地にしてほしいという意見があった。市議会も反対の意見書を東京都に上げている。都市基盤分野での7)の吉祥寺地区の4行については、余分なことは書かないでほしいし、賛成につながる言い方もやめてほしい。また、人ごとの書き方をせず、行政は住民に沿った形でやってほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	外郭環状線の2	外環の2について反対を盛り込むべき。外環地上部についても建設に反対すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	外郭環状線の2	外環道路については、5期長計では基本的には都市マスの内容に準じて良いと思う。ただし、「外環の2」については武蔵野市としては必要を認めないことと、住民の意思を尊重する旨を記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	外郭環状線の2	記述内容を以下のとおりすべき。「都市高速道路外郭環状線の計画は都市計画変更により平成21年事業化されましたが、市民が抱く不安を解消すべく十分納得いく検討が必要である。また昭和41年に決定している「外郭環状線の2」については都市高速道路外郭環状線の都市計画と一体であり、計画変更されたことにより「外郭環状線の2」は死に体である。現在行われている「話し合いの会」の議論は別のものであり、まず廃止手続きを当市から行い、新しい計画として論じることとする。その際は国・東京都に対し、適切な情報提供と住民への丁寧な対応を求めていく。」	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	外郭環状線の2	外環の2については、その必要性そのものについて検討段階であることを明示すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	外郭環状線の2	外環のところももう少しきちっと書いてほしい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	本町コミセン周辺の環境浄化	本町コミセン周辺の環境浄化についての市の見解を聞きたい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	7)三駅周辺まちづくりの推進	高さ規制	住環境を守るため高さ規制を進めるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道一元化の目的の明確化	市民がおいしい水のためにどれくらい水道料金を値上げしてもよいか把握できているのか。水道一元化を検討する必要がある目的の1つとして「おいしい水を確保」なのか。市民のニーズの的確な反映の上で、その目的を再考することが必要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	意識調査手法	水道事業に対する住民のニーズを的確に把握するために、アウトリーチ手法は有効だと考える。分野によっては、市民意識調査について、アウトリーチ手法を検討するとよい。目的に対する手段として、費用と効果の点からどの手法が最適かを考察することが重要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道一元化について	東京都との上水道の一元化の意味を市民は知らされていない。財政的な問題もあるかもしれないが、はっきり知らされた上での書き方でないと、理解できない。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道のリスク管理	リスク管理の観点から言えば、運営規模が小さいことによる復旧の早さも勘案した検討をすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道の一元化	一元化のスケジュールを明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道の一元化	上下水道はとてめ危機状況であり、都との一元化により安心して水の供給が得られるようになってほしいと思ふ。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道一元化に向けた合意形成	水が値上がりすることを、市民にどのように周知するのか。水道の一元化に言及するのであれば、市民の合意形成をどのようにするかということを書き込むべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	4都市基盤	8)水道一元化に向けた検討	水道一元化の理由	水道一元化に向けての検討とあるが、その理由はなにか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1)地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治体運営の基本的ルールづくり	18ページに「自治体運営の基本的ルール作りについても検討すべきである」となっているが、「検討すべきである」よりも少し踏み込んだ表現にしてほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1)地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治体運営の基本的ルール	市民参加が公平・適切に行われることが重要で、「市民参加の基本的ルールづくりについても検討すべきである」という表現にすべきである。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1)地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	市民の意見の取り扱い	最近の市政は、決定を市民に押し付けることが多い。市は、市民に諮ると、取捨がつかないと考えているようだが、市民に押し付ける役人の態度を改め、誠心誠意説明すれば、市民は理性的に受け止め、理解する。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1)地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	市民の意見の取り扱い	圏域別市民会議等で市の施設廃止に関し、市民の意見・要望を聞かない事に批判が多く出された。市民軽視の市政を改めるため、市民の意見を聞くことを明記すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1)地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	協働と合意形成	市民とまちづくりとの関係について、次の2点を認識すべき。① まちづくりは市民だけでなく、行政(あるいは企業やNPOなど)との協働で行うものである。② 市民は多様性をもっている。ゆえに分野間、価値観間の多様性を適正に調整し、合意形成のもと納得する方針を決めていけるような仕組みを作ることが重要である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1)地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治基本条例の制定	「自治基本条例」の制定を明記すべき。市議会を含めた役割分担や関係性について、とりまとめる時期に来ている。策定の過程そのものが、貴重である。条例は作ることに意味があるのではなく、どのように作り、どのように運用するかが大切ではないか。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治基本条例の策定	「自治体運営の基本的なルールづくり」＝「自治基本条例」の策定についての構想への記載。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治体運営の基本的ルール	「自治体運営の基本的なルールづくりの検討」について、調整計画後の成果を書かないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治体運営の基本的ルールの内容	自治体運営の基本的なルールはどのようなことをあらわしているのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治体運営の基本的ルールの内容	自治体経営、ガバナンスというものと市民自治というもの、ここをどう描いていくかということが、今後10年の大きなビジョンだと思う。その点についてしっかりと踏まえてほしい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治体運営の基本的ルールと長期計画の関係	いわゆる自治体運営のルールを先に議論すべき。地方自治法の改正案の考え方の中で、自治憲章をつくるべきと国も言い出している。この点の討議要綱の書き込みが非常に薄い。どうしていくのか先に考えないことには、武蔵野市の長期計画は、整合性がとれないと思うが、この点の制度設計をどうお考えになっているのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	自治基本条例の策定	市民自治を進めるためには、自治基本条例を策定すべきである。しかし、市民も、自分たちの仕組み自体のつくり手なんだという意識を持つことがなかなかできていない。自分たちがつくり手でもあるという意識は、住民自治にとって非常に必要なことである。協働の推進と、市民自治の実現ということのバックボーンとして、自治基本条例は絶対必要である。もう少し踏み込んで記述すべきだ。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	市民自治の推進	議論をして共有して物をつくるということが市民自治、ガバナンスだと思うが、そこまで至らない。だから、武蔵野市は、もっと強いメッセージを出さないといけない。市民は自分たちが枠組みをつくることによって、税金の使い道の優先順位について、合意していく。そのことが住民自治には必要だと思う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	市職員のNPOとのかわり	職員定数削減の問題もあるが、市職員はスポーツマンとして常態的に青少年協等に来て情報を提供してほしい。青少年協等の活動において世代間の認識の違いがあり、これをどうするかも検討してほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	市民協働による規則の見直し	都営住宅に住む高齢者が自費でバリアフリー化しても、移る際には現状回復を求められる。その理由は「規則」だから、とのことであるが、そのような規則を市民と協働で考え直すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	当事者参加の仕組み	福祉等の、特にニーズを持っている人たちの支援について、行政と民間と市民の関係性をどうつくるのか。当事者の人たちが計画策定に参画できる仕掛けを、この10年でどうつくるのか。具体例としては、自立支援協議会の中に当事者部会が機能している。この当事者参画を、今後10年で武蔵野市としてはどのように展開するか期待したい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	1) 地方分権・市民自治を取り巻く動向への対応	行政サービスの維持	一括交付金問題を踏まえた上で、行政サービスの質の維持は可能か。歳入の減少を含めて、議論してほしい。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	公共施設配置	施設計画は一つの分野からだけでなく、市全体で複合的に考えるべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	公共施設に関する記述	西部図書館の跡地を歴史資料館にすることや、旧桜堤小学校を運動公園にする等、言い切っている。だが、どのように決めて判断されて、ここに書いたのか。この点について、論拠について説明していただきたい。例えば西部図書館に関しては、議会で付帯決議がついている。図書館の指定管理者制度は次の契約のときに見直しという決議を議会として出している。この辺をちゃんと理解しているのか。また、公共施設配置は決まったことではないということも前提に説明すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	施設利用の促進	市民会館、各コミュニティセンター、武蔵野プレイス等の「箱物」を市民一人一人が有効に利用でき、十分に市民活動を楽しめるようにしてほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	吉祥寺美術館音楽室の移転・廃止	吉祥寺美術館の音楽室の代案はあるのか。「今後の公共施設配置のあり方について(検討案)」では移転または廃止が明確に書かれていたが、今回の資料には入っていない。移転または廃止はなくなったと解釈しているか。 私たちはアマチュアの合唱団だが、様々な活動を行うことによる経済効果や外国や他の団体との交流も生まれている。こうした活動の基盤として練習場を残す方向性を明確にしてほしい。	圏域別(中央地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	吉祥寺美術館音楽室の移転・廃止	公共施設のあり方報告書では、吉祥寺美術館音楽室の移転または廃止とあり、現状を無視した結論だ。音楽室の廃止は活動をしている団体の消滅につながりかねない。代替策の併記もしくは検討が添えられるべきだ。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	吉祥寺美術館音楽室の移転・廃止	吉祥寺美術館音楽室は駅から近く、利用率の高い、市内でも有数の練習場である。長年培われた音楽レベルは簡単にはつくり上げられない。廃止の前にまず継続を前提とし、移転するのではあれば、現在の規模よりも大きなもので、かつ代替地を確保してからにしてほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	吉祥寺美術館音楽室の移転・廃止	「今後の公共施設配置のあり方について」において「音楽室の移転又は廃止を検討する」との内容が示されているが、市民文化活動に不可欠である吉祥寺美術館・音楽室を存続させるべき。もし移転が不可避である場合、立地、音響、収容人数、使用条件などについて、現状レベルもしくはそれを上回る市民のための音楽練習施設を確保すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	吉祥寺美術館音楽室の移転・廃止	もともと音楽室があった隣に美術館をつくられた経緯もあり、長年利用してきた音楽団体等への配慮が必要に時間をかけて丁寧に合意をはかるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	吉祥寺美術館音楽室の移転・廃止	「今後の公共施設配置のあり方について」で、吉祥寺美術館の中に音楽室について「美術館の拡充の要否とあわせて、音楽室の移転または廃止を検討する」となっている。もともとあった音楽室を移転させるというのではおかしいのではないのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	エフエフホールの存続	エフエフホールは音響効果がよく、利便性が高い、さらに利用率も非常に高いので移転せず、今の場所に残してほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	施設の位置づけ	全市レベルの施設は市の中心部に置くことを検討しているのか。武蔵野プレイスは吉祥寺からだとかなり遠いところにある。全市レベルのプレイスの出先機関が3箇所くらいあってもいい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	公共施設の再配置及び未利用地低利用地の活用	「公共施設の再配置」について、市民への周知が重要。公共施設の建替え用地とされている土地について、具体的な建替え対象施設の想定を示すべき。また、不用品の売却についての記述すべき。売却しない未利用地について可視化すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	公共施設や市有地の活用に対しての市民参加	市民の見えるところで、市民の意見を聞きながら公共施設や市有地・市有財産の活用を考えるべき。市の遊休地については住民の一時的有効利用の道を開くべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	2) 公共施設の再配置・市有財産の有効活用	公共施設配置のあり方	音楽室が相談なく、取り壊されようとしている。さまざまな施設の改廃あるいは停止、その他は慎重なべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体への職員派遣の抑制	財政援助出資団体については、職員派遣を極力抑えるべきである	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体の評価	財政援助出資団体について、コスト削減の視点でのみ評価していくと、委託事業の質や労働条件の低下がもたらされることになり問題である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体の運営	コスト削減の視点のみの評価は、委託事業の質や労働条件の低下が危惧される。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体の再編	再編はすべきだが、各団体との意見調整ができていないのか。その前に各団体の事業の仕分けが必要。検証したうえで行うべき。事業内容の評価・検証をおこなったうえであり方を検討するとすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体の再編	業務の削減・縮小に言及すべき。また、財政援助出資団体の再編についてより具体的に記述すべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体の再編	財政援助出資団体を今後10年でどのように再編していくのかということが大きな問題である。責任の所在や、民間でありながら、行政と行政の監督・管理のもと公共サービスを提供する団体であるという方式を、武蔵野市が独自のスタイルとして今後も継続していくのか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	財政援助出資団体の再編	財政援助出資団体が行う行政サービスの範囲と量が増えている。効率的な経営と市民サービスとの関係からいって、どのように両立していくのか。(市民サービスの拡充という観点で) また、経営ということばは使うべきでないと考えている。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	職員定数適正化	職員定数適正化の名目による、人員削減ではなく、住民サービスの向上の視点を持つべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	事務事業の見直し	財源が不足するのであれば、何を削減していくべきかを市民に問う必要がある。予算の限り事業を詰め込むよりも、事業の効果を整理・点検をする時間を作ることに重点を置くべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	経営と運営	経営はある意味前向きというか、積極的な感じを受ける。運営というのはどちらかというと受け身のイメージを持つ。言葉の定義でも、機能を持ったものをしっかり推し進めると言うのが運営であり、経営は目標をしっかりと定めて、それに取り組んでいく姿勢が出る。基本構想・長期計画は、行き先をしっかりと我々が定めるべきである。ゆえに、経営という言葉を使うべきだ。ほかの委員の考えを伺う。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	市税徴収の方法	「市税徴収の方法の検討」については、如何なるロジックがあるのか見えない。不見識である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	10年間の財政見直しについて	第五期長期計画では、プライマリーバランス、10年間の財政見直しを出したらどうか。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	住民票を移していない者に対する対策	単身用共同住宅の住民は、住民票を移していない者も多い。本来納税すべき対象であるにもかかわらず市税を納税していない。これらについての対策を記述すべき。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	働き盛りの人を対象とする環境整備	働き盛りの人が武蔵野市でしっかり働ける環境、子どもを育てられるという環境を整備するべき。納税力がある人たちが多く住めば、それだけ歳入が増える。市税を払っていただける方を増やし、また、また喜んで払っていただけるような環境と整える視点が必要である。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の論点	5行・財政	3) 持続可能な市政運営の確立	将来の市民サービスの低下	財政問題が語られているが、市民意識調査では、負担がふえてまで市民サービスをアップしてもらってはならないという市民の声が多い。将来の財政力とこういう市民の声を考えると、この先10年間、市民サービス、行政サービスの低下をさせないことは難しいのでは。市民に対して多少でも我慢を訴えるべきでないか。	市議会全員協議会
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	市職員の教育	市職員を育てること、職員の学習を促進することも明記してほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	市職員の資質向上	市職員の資質向上をきちんとやってほしい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	職員の人材育成	職員の人材育成(特に感性の養成)について記載してほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	市職員と市民のつながり	市職員は市民とつながることで意識を上げられると思うし、平等につき合う時間ができれば、市民も市に相談しやすくなる。それを長計に盛り込んでほしい。	関係団体市民会議(発言)
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	職員の削減	行財政改革の名で職員の大幅な削減を実行してきた。その結果、市の職員が組織外でも積極的に活動できる場や機会を失い長時間労働・超過密な職務をこなさなければならず、とても地域に出て市民と語り合う余裕がなくなった。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	「職員を育てる」という観点の明記	武蔵野市の職員のなかには、能力と人柄を兼ね備えた優れた人材が多。大きな可能性を秘めた人材を優れた行政職員として育てていくことを市役所全体の課題とすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	事業の廃止縮小に対する人事評価	無駄な事業や作業の中止や省力化について評価すべき。また、フレックスタイムの導入を検討しないのか。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	職員の採用と教育	市職員はできるだけ地元から採用してほしい。新規職員は地元を知る意味で生ごみの回収に連れて行ってほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	市職員の市内在住	市職員が市民の思いをなかなか受け止めてくれないと言われていたが、市職員に武蔵野市に住んでもらうことを進めてほしい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	市内在住職員の割合	市の職員採用に市内在住者を増やすべき。市内在住職員の割合を最低40%以上に上げるべき。更に、地域担当を割り振り、その担当区をコミュニティ関係者、福祉の会関係者との懇談及び案内によってよく知る。また、地域課題についての研修を充実させ、地域を熟知した職員となるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	4) チャレンジする組織風土の醸成	職員の専門性の重要性	福祉関係、図書館のように専門職が必要な分野がある。本人の意思も尊重しながら、ある程度長期に同じあるいは関連した職場に居ることで、市民サービスが格段に向上する。正職員と嘱託・アルバイトについては、マイナスがでないようにする必要がある。武蔵野市の将来は職員の質にかかっている。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	5) セキュリティ対策及びリスクマネジメント徹底	セキュリティ強化	セキュリティ強化は方向性は正しいが、マニュアル化する作業は、これまでやってきた何かを省かないと現実的でない。対策を徹底するならば、省力化の議論をセットで行うべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	市政の事前説明	重大なことについては、地元の人を集めて説明し、納得いくまで話し合ってもらいたい。	圏域別(境地区)発言
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	内容の合意と情報発信	市が計画しているコンパクトな建物の使用方法について市民との話し合いをしっかりと、決めてほしい。策定委員の方々には行政の考え方をしっかりと確認してほしい。行政は市民に情報を流してほしい。	関係団体意見シート
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	計画策定段階での市民の議論の喚起	計画の策定段階で市民の議論を喚起し、行政の計画としてわかりやすく、実行性のあるものにすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	効果的な市事業の周知	市民意識調査の認知度調査では、認知度50%以上のものは「路上喫煙の設定」しかない、この結果の検証をする必要がある。市政に関心のない人には、効果は少ない、その点から考えるべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	市報への個別計画の掲載	市報の一面で計画を掲載するのであれば、計画の策定段階で掲載し、意見を求めるという形で掲載した方が、議論を喚起する機能を持つのでは。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	議会議事録の即日開示	ホームページは、議会への行政報告資料は即日開示すべき。各種委員会等の議事録がアップされても、トップページでは分からない。市民促進のためには重要な資料である。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	市政資料コーナーのあり方	市政資料コーナーの認知度は低く、利用者は特定される。スペース確保のコストを考えた場合、電子化して保存した方がいい。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	情報公開委員会の役割	情報公開委員会は、あまり機能していない。市政情報を提供に関する実質的な議論をすべき。	パブリックコメント
Ⅵ分野別の課題	5行・財政	6) 市の情報公開・情報発信の見直し	市民参加と情報公開・情報発信	情報公開・情報発信は市民参加の基本的な条件のひとつである。紙情報が多すぎると言うことで、安易に情報発信の節約をすべきでない。HPに情報が偏ることも、情報弱者の市民にとっては差別ではないか。	パブリックコメント

討議要綱に対する意見集約表

討議要綱の分野			テーマ	意見の要約	種別機会
大項目	中項目/分野	項目			
VII分野別の課題	5行・財政	6)市の情報公開・情報発信の見直し	情報公開のやり方	市報で討議要綱の特集号を出したのはいいタイミングだった。時宜を得た情報公開を的確にやり、今後とも市報等情報公開のやり方について工夫してほしい。	関係団体市民会議(発言)
VII分野別の課題	5行・財政	6)市の情報公開・情報発信の見直し	情報発信の方法	顔と顔をつき合わせて話すのはとても大事なので、市からの情報発信のひとつとして出前講座のような方法も考えてほしい。	圏域別(中央地区)発言
			策定委員の人選	市民会議には武蔵野市在住のパネラーに参加してもらいたい。	圏域別(吉祥寺地区)発言
			市民への歴史の伝達	歴史を学ぶ必要がある。市議会は議決権を有しており、非常に責任が重い。市議会議員は、学ぶことなく、簡単に賛否を表明できない。そういうところは市民にぜひ伝えていきたい。まちに出、それぞれが持っている人脈の中で市民に伝えていかなければならない。	市議会全員協議会
			生活し続けたいまちを目指す	公募市民会議のまとめの中で、「生活し続けたいまちを目指します」の中に、「武蔵野市で人が生まれ、育ち、生活し、老い、そして寿命を全うできる、そういうまちであってほしいと思います。」この記述に共感する。これを基本構想・長期計画に記述すべきだ。私の政治活動の概念として、これと似た概念を持って活動している。	市議会全員協議会
			夢を持ち、武蔵野市から日本をつくる気概の必要性	夢は高ければ高いほどいい。夢は実現できる。国の制度に縛られるのではなく、党派を超えて武蔵野市から日本をつくる気概を持つべきである。	市議会全員協議会
			市の施策に対する満足度・重要度の散布図	「市の施策に対する満足度・重要度について」の散布図は、市民に対してミスリードな情報を与える。異なった分布をする施策の評価を同じ座標に置くのは、統計的に間違っている。ひとつの図にするならば注意書きをいれるなどもっと情報をほしい。	関係団体市民会議(発言)
			証明書等の西暦記入	証明書等に元号で日付を記入する様式を、西暦に変えるべきである。	パブリックコメント
			食の安全体制の確保	商品の原産地偽装や賞味期限の改悪等について、消費者自らも注意すべきであるが、行政も国・都だけでなく、自治体としても厳しい管理体制が望まれる。	パブリックコメント